

色麻町教育委員会の事務の管理及び執行状況
についての点検及び評価の結果報告書
(平成24年度実績)

平成25年8月

色 麻 町 教 育 委 員 会

Ⅰ はじめに

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会においては、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくために「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づき、平成24年度の教育委員会の点検及び評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を聴取し報告するものです。

色麻町教育委員会は、毎年策定する教育基本方針に基づく具体的施策や重点事業等の実施状況について点検及び評価を行い、学識経験者の意見を聴取したうえで、課題や今後の改善方策を明らかにするとともに効率的かつ効果的な教育行政の推進を図ることとし、点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表することにより、町民に対する説明責任を果たし町民に信頼される教育行政を推進するものです。

平成25年8月

色麻町教育委員会

関係法令

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

II 実施概要

(1) 評価の対象

教育基本方針に基づく教育重点施策や具体的事業実践プラン等の実施状況について点検及び評価を行いました。

(2) 対象期間

平成24年度（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）

(3) 評価の観点

教育基本方針に示す具体的施策等について、成果と課題を明らかにした上で、次に示す5区分により達成度を評価しました。

⑤	大変満足
④	概ね満足
③	普通
②	やや不十分
①	不十分で改善必要

III 結果

(1) 評価等の結果

評価	⑤ 大変満足	④ 概ね満足	③ 普通	② やや不十分	① 不十分で改善必要
項目数	3 (1.7%)	115 (63.9%)	59 (32.7%)	3 (1.7%)	0 (0.0%)

(2) 公表の方法

町ホームページに掲載します。

色麻町の教育基本方針

色麻町の恵まれた自然の中で、未来に向けて志を高くし、心身ともに健やかな人間の育成と、潤いと活力に満ちたふるさとづくりを目指して、

- **確かな学びの力と**
やさしさやたくましさを培う学校
- **学びとうるおいがあり**
絆を大切にする家庭と地域社会
- **芸術文化の創造と**
活力あるスポーツの展開

を重点に、本町の未来を展望しながら、町民の生涯にわたる学習の充実に努める。

IV 目次

教育の重点

1	教育委員会運営事業	5
2	事務局運営事業	6
3	創意と活力に満ちた特色ある学校づくりの推進	8
4	確かな学力を身に付けさせるための指導と評価の工夫	13
5	各発達段階に応じた「志教育」の推進	21
6	豊かな心で互いに認め合い高め合う人間関係の醸成	23
7	学校体育、保健・安全教育、食育指導の充実	31
8	一人一人の発達段階や特性等を考慮した特別支援教育の推進	36
9	情報活用能力の育成と情報モラル等を培う情報教育の推進	38
10	各教科、道徳、特別活動の時間との関連を図った指導計画の作成	41
11	教育課程を踏まえた創意と活力に満ちた園の経営	47

1 2	幼児の発達の特性を踏まえた特色ある教育課程の編成と実施・改善	4 9
1 3	個々の特性に応じた指導の充実	5 1
1 4	発達段階を踏まえた幼・保・小の連携による学びの土台づくり	5 3
1 5	家庭や地域・関係機関との緊密な連携による基本的生活習慣の確立	5 4
1 6	子育て支援と預かり保育の充実	5 6
1 7	教職員の研修の充実と実践的研究の奨励	5 7
1 8	教職員の服務規律遵守の徹底	5 9
1 9	教職員の健康管理と福利厚生の充実	6 0
2 0	学校環境の安全と整備・充実	6 2
2 1	施設・設備の開放の推進	6 4
2 2	教材・教具の整備・充実と活用の促進	6 5
2 3	生涯学習の推進	6 6
2 4	ライフステージに応じた教室，講座等の充実	7 0
2 5	芸術文化活動の振興	8 0
2 6	文化財保護体制の整備充実と活用の推進	8 2
2 7	生涯スポーツの推進	8 4
2 8	図書事業の推進	9 0
2 9	情報技術・視聴覚教育の充実と振興	9 2
3 0	奨学事業運営事業	9 3
3 1	児童生徒の通学確保に関する事業	9 4
3 2	幼稚園児の通園確保に関する事業	9 4

学識経験者による意見書

意見書	9 6
-----	-----

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	1 教育委員会運営事業
具体的施策	(1) 教育委員会委員活動の事務執行
主要事業	① 教育委員会の開催
具体的取組計画等 ・毎月1回定例会を開催し、教育長から提案された議案を審議する。また、必要に応じ臨時会を開催し、教育行政の円滑な運営に努める。(教委)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・会議資料の事前配布は議事進行、審議の深まりに効果的であった。(教委) ・提案された議案について慎重に審議を重ね、教育行政の円滑な運営に寄与できた。(教委) ・小中一貫教育については、平成26年度開校を目指し、今後も協議を継続して行う必要がある。(教委) ・委員会開催 14回(定例会 12回 臨時会 2回) 議案 31件 協議 4件 報告 2件。(教委)	

教育の重点	1 教育委員会運営事業
具体的施策	(1) 教育委員会委員活動の事務執行
主要事業	② 学校訪問
具体的取組計画等 ・各学校を訪問し、教育委員会で定めた教育方針に沿った学校経営や指導計画が実践されているか、校長から説明を受けるとともに、学習指導の状況、教育活動について意見交換を行う。(教委)	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 ・11月に教育委員が各学校を訪問し、教育現場を直に視察しながら、校長や教務主任等からの説明を受け、各学校の学習指導の状況、教育活動の実態、施設整備の現状を把握することができた。(教委)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	2 事務局運営事業
具体的施策	(1) 教育全般にわたる事務の適正な処理
主要事業	① 就学に関係すること
具体的取組計画等 ・入学通知, 転校, 区域外就学の手続き。(教委)	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 ・適正かつ遺漏無く執行された。また, 区域外就学については, 保護者の希望を最大限尊重し, 結論を出している。(教委)	

教育の重点	2 事務局運営事業
具体的施策	(1) 教育全般にわたる事務の適正な処理
主要事業	② 教科書, 教材の取り扱いに関係すること
具体的取組計画等 ・教科書の無償給付に関する事務。(教委)	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 ・良好に執行されている。(教委)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	2 事務局運営事業
具体的施策	(1) 教育全般にわたる事務の適正な処理
主要事業	③ 教育関係職員の研修に関係すること
具体的取組計画等 ・研修の案内及び希望者の取りまとめと申請。(教委)	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 ・宮城県教育研修センター等からの研修案内を小・中学校及び幼稚園に送付し、教職員の指導力向上に努めた。(教委) ・平成26年度小中一貫校開校に向け、今後も様々な研修に参加する必要がある。(教委)	

教育の重点	2 事務局運営事業
具体的施策	(1) 教育全般にわたる事務の適正な処理
主要事業	④ 学級編制に関係すること
具体的取組計画等 ・職員の定数及び学級数に関する事務。(教委)	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 ・適正に執行されている。(教委)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	2 事務局運営事業
具体的施策	(1) 教育全般にわたる事務の適正な処理
主要事業	⑤ 教育に関する調査, 統計に関係すること
具体的取組計画等 ・学校基本調査及び地方教育調査の実施。(教委)	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 ・適正に執行されている。(教委)	

教育の重点	3 創意と活力に満ちた特色ある学校づくりの推進
具体的施策	(1) 地域から信頼される着実な学校経営
主要事業	① 教育目標の具現化に向けたよき校風づくりの推進
具体的取組計画等 ・教員個々の特性を生かした協働できる校務分掌の配置と組織化を行う。学校評価を実施し公表する。(色小・清小) ・全学年共通の目標を3つ, 学年毎の目標1つを年度当初に設定し, 生徒や保護者に提示するとともに, 数値目標を設定し, 年度末にアンケートによる評価を行い, その達成度を把握し, 公表する。(色中)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・学年部(低学年部, 中学年部, 高学年部, 特別支援部)や研究部, 生徒指導部などチームで対応する体制が整ってきている。また, 学校評価については全体的に良好であり, 貴重な意見を出し合う機会となっている。(色小) ・計画に従い, 協働できる校務分掌の配置と組織化を行うことができた。教員による学校評価(年2回), 学校評議員会(年2回), 学校関係者評価の実施(年3回)を行ったほか, 保護者による学校評価を実施し, それぞれの結果について公表することができた。評価の内容も, 概ね満足できるものであった。なお, 慢心することなく, 平成25年度(清水小学校としての最終年度)に臨みたい。(清小) ・生徒対象の授業評価及び学校生活アンケート, 保護者対象学校改善アンケート等の結果から, 生徒・保護者ともに本校の教育活動に対して, 好意的な数値及び声を聞くことができた。学校生活満足度についての結果は, 昨年度を大きく上回った。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	3 創意と活力に満ちた特色ある学校づくりの推進
具体的施策	(1) 地域から信頼される着実な学校経営
主要事業	② 地域とともに歩む開かれた学校づくりの推進
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりの地域内全戸配布。父母教師会と迅速で密接な連携を図る。地域の区長や民生児童委員、地域の機関や代表の人々へ、学校行事等への案内を行う。地域ボランティアを活用する。(色小) ・「共生」のテーマのもと、1年生から地域との交流・体験活動等の積み上げを図る。(清小) ・宿泊研修や職場体験、立志式等の体験学習を実施することで、地域社会の実情を知り、地域へ貢献しようとする態度を培う。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりは年15号程度を発行の目安に、すべて全戸配布することができた。ボランティアについては、2年生や3、4年生で学習ボランティアと花植えボランティアの人々を活用することができた。(色小) ・「共生」のテーマのもと、1年生から6年生まで、地域との交流・体験活動等の積み上げを図ることができた。(清小) ・学校だよりの地域内全戸配布を、全14回実施することができた。父母教師会との緊密な協力関係を築くことができた。その成果が、今年度の「文部科学大臣表彰」に結実したものと考え、大変に意義深い年となった。(清小) ・地域の区長や民生児童委員、地域の機関や代表の人々へ、学校行事等への案内を行った。地域ボランティアを活用することができた。(清小) ・町内各施設での職場体験学習や福祉施設での体験学習を通して、地域を知り貢献しようとする態度を育む一助とした。活動後の生徒の感想からも、その意識の高まりがうかがえた。(色中) 	

教育の重点	3 創意と活力に満ちた特色ある学校づくりの推進
具体的施策	(1) 地域から信頼される着実な学校経営
主要事業	③ 学校評価システムの構築と計画的評価の実践・活用・改善
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートや学校関係者評価、学校評議員会を実施する。(色小) ・自己評価は、中間評価(7月)と年度末評価(1月)を実施する。(清小) ・学校関係者評価委員会を組織し(年2回実施)、その成果を学校運営に生かしていく。さらに、報告書を作成し公表する。(清小) ・生徒、保護者等のアンケートから、学校が改善すべき内容を把握し、その年度及び次年度の教育課程編成に生かす。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・保護者による「学校生活アンケート」は年1回、学校評議員会は年2回実施、学校評価について評価してもらおうとともに、児童の安全面に関することから父母教師会のあり方等多岐にわたる意見をもらうことができた。(色小) ・自己評価として、教職員による学校評価を、中間評価(7月)と年度末評価(1月)の2回、着実に実施することができた。(清小) ・学校関係者評価委員会を組織し、その成果を学校運営に生かしていくことができた。年2回の計画であったが、夏の懇親会を含めて、3回の実施が可能だった。報告書を作成し公表、教育委員会へも確実に報告することができた。「学校評議員会」も、年に2回実施することができた。大変に有益な指導を受け、実践の励みとなった。(清小) ・学校評価計画を、学校教育計画に位置付け、系統的かつ計画的に学校評価にあたり、その結果をもとに分析・対応を協議する場を設定し学校改善に努めた。(色中) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	3 創意と活力に満ちた特色ある学校づくりの推進
具体的施策	(1) 地域から信頼される着実な学校経営
主要事業	④ 学校評議員制度の積極的な活用と学校運営への反映
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・年2回、学校評議員会を実施する。評議員に学校行事や学習を参観してもらい指導・助言を得る。(色小・清小) ・年4回の定例会を実施し、学校と評議員が課題を共有するとともに、学校への信頼を維持する場とする。また、学校評議員が学校と地域の橋渡し役となるよう努める。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・運動会や学芸会、あたご祭の学校行事、9月と2月には学習の様子を参観してもらい、指導・助言をもらった。(色小) ・年2回、学校評議員会を実施することができた。また、評議員に学校行事や学習を参観してもらい指導・助言を得ることも、予定通りにできた。評議員各氏の意識が大変高く、積極的に学校に足を運んでもらった。教育活動を実際に参観してもらったことも、評議員会の充実に資するものとなったと考える。(清小) ・学校評議員会の話し合い資料等を、定期的に教育委員会に報告し、結果をオープンにすることに努めることができた。(清小) ・年4回の定例会を実施し、学校と評議員が学校課題を共有し、今後の方向性を示唆してもらい、学校課題の改善につなげることができた。また、親睦会を実施し学校と評議員との信頼関係構築を図った。(色中) 	

教育の重点	3 創意と活力に満ちた特色ある学校づくりの推進
具体的施策	(1) 地域から信頼される着実な学校経営
主要事業	⑤ 小中一貫教育を見通した効果的な指導法の試行
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育推進部会、学力向上部会、色麻学部会、交流部会の活動の推進。中学校の授業参観。(色小) ・高学年の一部教科(算数、理科や音楽、体育など)を専科で指導する。(清小) ・小中間での教員の交流を活発化するため授業づくり研修会を企画し、小学校教員へも参加を促し、よりその意識を高める。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・3校の教頭、教務主任が調整役となり、小学校と中学校の「教科の年間計画」について検討した。また小中学校教員による授業(体育、音楽)を行ったり、小中教員で模擬授業の研修会を実施した。(色小) ・計画通り、高学年の一部教科で(算数、理科や音楽、体育など)専科で指導することができた。また、音楽については、大きな行事(学習発表会、卒業式、郡音楽祭等)で、音楽主任が該当学年に入り、TT指導を行ったり、担任に代わって授業を行ったりするなどの体制を工夫することができた。(清小) ・色麻小学校、色麻中学校の指導主事訪問等で、授業を参観させてもらったり、本校の指導主事訪問に他校より教員が参観に来たりするなどの、小中連携を踏まえた交流を実施することができた。(清小) ・小中一貫のプロジェクトが発足し、それぞれの教科・領域、また教頭・教務主任レベルで計画立案の作業を進めることができた。なお、成果については、これからである。(清小) ・小中教員による授業づくり及び言語活動に関する研修会を実施し、大きな成果をあげることができた。また、中学校教員による小学校での交流授業を、保体・音楽で実施し、中1ギャップ防止の小中の円滑な接続を図る一助とした。(色中) ※TT(チームティーチング)とは・・・複数の教師が協力して授業を行う指導方法	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	3 創意と活力に満ちた特色ある学校づくりの推進
具体的施策	(2) 創意と工夫に満ちた教育課程の実施と評価
主要事業	① 新学習指導要領に基づいた創意と工夫に満ちた教育課程の実施と評価
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの外部評価や学校関係者評価をもとに、本年度の教育課程を編成する。また、学期毎に学校評価を行い、その反省を次に生かしていく。(色小) ・学校評価を計画的に実施し、PDCAサイクルを生かした教育課程の編成を行うとともに、学習指導要領に準拠した教育活動を展開する。(清小) ・小中一貫教育の準備段階として、高学年での中学校教諭による専科の授業等を実施する。(清小) ・年間を3期に分けた時間割を編成し、授業時数増に対応する。また、時期的に週あたりの授業時数を変更するなど、柔軟な教育課程の運用を工夫する。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・1学期末と2学期末に学校評価を実施した。改善策を検討できるものは先延ばしせず次の学期の実践に位置づけた。また、学校評議員による関係者評価も行い、児童の教育活動の改善に生かすことができた。(色小) ・学校評価を計画的に実施し、PDCAサイクルを生かした教育課程の編成を行うことができた。学習指導要領に準拠した教育活動を展開することができた。また、いわゆる「余裕時数」を、あらかじめ各学年の教科に割り振りしたこと、効果的な補充ができたものとする。(清小) ・小中一貫教育の準備段階として、高学年での中学校教諭による専科の授業等を実施することができた。ただし、回数的には音楽と体育で1時間ずつと、大変に少なかったため、それが直ちに効果に結び付いたかという点では疑問が残る。次年度は、該当教科で、さらに計画的に実施できるとよい。(清小) ・授業時数増に係る教育課程を計画的に実施することができた。学期毎の学校評価を行い、改善を図ることはできている。(色中) ※PDCA・・・Plan(計画) Do(実行) Check(確認) Action(改善)	

教育の重点	3 創意と活力に満ちた特色ある学校づくりの推進
具体的施策	(2) 創意と工夫に満ちた教育課程の実施と評価
主要事業	② 学校間の連携による潤いのある教育活動の推進
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・幼・保・小連携推進事業を行う。中学校の卒業式や行事に6年生を参加させる。(色小・清小) ・両小学校の6年生同士で交流会を行う。(色小・清小) ・幼稚園・保育所との交流会を行う。(清小) ・年4回程度の小中職員間での授業参観日を設定し、小・中間の垣根を低くするための交流を段階的に行う。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・幼保・幼小・幼保小の交流をそれぞれ実行することができた。また、中学校の合唱コンクールと卒業式に6年生が参加し、中学校理解に大いに有効であった。小小交流会についても、MAPを実施し両校の児童のコミュニケーションが深まり、不安感の解消の一助になった。(色小) ・幼・保・小連携推進事業を積極的に推進することができた。小学校の授業(1年生:算数・国語)を幼稚園児が参観したり、教科を通じた活動(2年生:生活「おもちゃまつり」)に幼稚園児を招待したりすることができた。また、収穫を喜び合う活動(やきいも大会)を、小学校低学年と幼稚園で合同実施し、遊びの交流をしたりすることができた。(清小・清幼) ・小中連携を踏まえ、中学校の卒業式や行事(合唱コンクール)に6年生を参加させることができた。(清小) ・両小学校の6年生同士で交流会を行うことができた。(清小) ・合唱コンクール及び卒業式の中学校行事への小学6年生の参加は、小中連携に大きく貢献している。小中の教師間交流も一層深まっている。(色中) ※MAPとは・・・みやぎアドベンチャープログラム。体験学習法の一つであるPA(プロジェクト・アドベンチャー)の考え方や手法を取り入れた宮城県独自の教育方法	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	3 創意と活力に満ちた特色ある学校づくりの推進
具体的施策	(2) 創意と工夫に満ちた教育課程の実施と評価
主要事業	③ 個に応じた指導計画の作成と改善
具体的取組計画等 ・軽度発達障害や適応障害等、個に応じた指導が必要な児童への個別指導計画の作成。(色小) ・特別支援教育の研修を充実させ、一人一人について実態を把握し、指導のあり方を担任と特別支援委員会等が連携し、通級指導教室の活用などを含め、学校全体で指導体制を整備する。(清小) ・年度当初に職員間で共通理解を図り、具体的な対応について諸会議で復習し、指導計画を改善する。(色中)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・特別支援コーディネーターを中心に、「あたごの子支援委員会」を実施し、個別に支援や指導が必要な児童をリストアップし支援計画を立てて、担任や学年部、特別支援部の協力のもと対応している。(色小) ・軽度発達障害や適応障害等、個に応じた指導が必要な児童への個別指導計画の作成を進めることができた。その過程において、特別支援コーディネーターが中心的役割を担った。(清小) ・特別支援教育の研修を充実させ、一人一人について実態を把握し、指導の在り方を担任と特別支援委員会等が連携しながら学校全体で指導体制を整備することができた。(清小) ・生徒個々に対して、特に配慮を要する心身的な事項を年度当初に確認し、ふだんの指導にあたった。また、特別支援学級に在籍する生徒のみならず特に配慮を要する生徒に対して有識者を招聘しケース会議開催及び個別の指導計画を作成するなど、指導・支援にあたることができた。(色中)	

教育の重点	3 創意と活力に満ちた特色ある学校づくりの推進
具体的施策	(2) 創意と工夫に満ちた教育課程の実施と評価
主要事業	④ 地域の教育力を生かした教育活動と相互連携の推進
具体的取組計画等 ・地域の人材や施設設備を生かした学習活動の展開。学校支援ボランティアの活用。(色小) ・3年「エゴマをつくろう」、4年「保野川を探検しよう」、5年「米をつくろう」など総合的な学習の時間では学校支援ボランティアを活用する。(清小) ・音楽における民謡の講師、保体での柔道の講師として地域の人々の協力をもらうとともに、花いっぱい運動等で学校支援員を活用する。(色中)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・3年生、4年生の春と秋の植栽活動や2年生、3年生の「町探検」に学校支援ボランティア(環境・学習)の人々にたくさんの方の支援をもらった。(色小) ・3年「エゴマをつくろう」、4年「保野川を探検しよう」、5年「米をつくろう」など、総合的な学習の時間を中心として、学校支援ボランティアを活用することができた。また、5・6年生の家庭科では、「裁縫・ミシンボランティア」を活用したり、6年生の「総合」では、先輩の生き方(進路選択)に学ぶという内容で、地域の人に講話をもらったりした。地域の人材活用という点において、大変に充実していた。(清小) ・音楽における民謡の授業、保体での柔道の授業では、地域の人材を活用し、より専門的な知識・技能を生徒に身に付けさせることができた。小中一貫校を見据え、今後もこうした取り組みを継続し、かつ新たな地域人材の活用について模索していく。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	3 創意と活力に満ちた特色ある学校づくりの推進
具体的施策	(2) 創意と工夫に満ちた教育課程の実施と評価
主要事業	⑤ 小中一貫教育を見通した教育課程の編成
具体的取組計画等 ・教育課程を確実に実施し、評価・反省に基づいてさらに改善する。(色小) ・平成24年度は指導計画作成の準備期間とし、学習内容の重複やスパイラル構造等について確認し、平成25年度には、それらを踏まえた小中一貫教育指導計画を作成する。(色中)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・当初の計画に基づいて、教育課程を確実に実施することができた。また、小中一貫教育を見通した教育課程を念頭に反省・改善を行っている。(色小) ・様々なプロジェクトが立ち上がり、また、各教科の指導計画についても、それぞれの担当で着実に歩みが見られるようになってきていると感じる。作成から検討・修正へは、まだまだ時間を要すると思うが、作成が進んでいることを大きな成果としたい。(清小) ・小中一貫校で活用する各教科の年間指導計画検討が、「確かな学力部会」でスタートした。今年度中にある程度の教育課程編成についての見通しを立て、来年度は完全な計画を完成する。(色中)	

教育の重点	4 確かな学力を身に付けさせるための指導と評価の工夫
具体的施策	(1) 教職員の研修の充実と教科等の指導力の向上
主要事業	① 今日の教育課題の共通理解と解決に向けた研究主題の設定
具体的取組計画等 ・研究主題「確かな読みができる児童の育成」～書く活動を重視した指導の工夫～を設定し、校内研究の充実を図る。(色小) ・全員が研究授業に取り組み、事前の模擬授業と事後検討会を設定して、授業力向上に努める。特に、技能教科の指導法については、実技研修等を実施する。(清小) ・「分かる、楽しい、できる授業づくり」をテーマとして、授業力向上のために校内研究体制を再構築し、研修を活性化する。(色中)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・研究主題を「確かな学力を身につけ、共に学び合う児童の育成」とし、算数科を中心に据えた校内研究に取り組んだ。学年部(低学年部、中学年部、高学年部、特別支援部)がそれぞれ、計画的に授業研究を行い、校内研究の充実を図った。(色小) ・全員が授業研究に取り組み、事前検討会及び事後検討会を設定して、授業力向上に努める。特に、技能教科の指導法については、実技研修等を実施することができた。(清小) ・新指導要領の核となる「言語活動の充実」等を柱にした研究を校内研究の核に据え、実践にあたることができた。また、新しい評価観や学力の三要素を含めた研究を進めていくことで生徒により分かる授業を展開していく。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	4 確かな学力を身に付けさせるための指導と評価の工夫
具体的施策	(1) 教職員の研修の充実と教科等の指導力の向上
主要事業	② 研修意欲の高揚に向けた組織づくりと運営の工夫
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・研究推進委員会を設置し、研修計画を立案する。各種公開研究会への参加。指導主事訪問の機会を活用した積極的研修意識の高揚。(色小) ・マンパワーを活用し、それぞれの教科分科会での模擬授業や検討会を行うことで、自己の授業を振り返り、新たな授業観を醸成する。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・研究推進委員会の企画運営による校内研修を行ったり、中学校教員との合同研修会を行ったり、また、千葉や東京、新潟の公開研究会へそれぞれ参加したり、県内の研修会にも数名の教員が参加した。(色小) ・研究推進委員会を設置し、研修計画を立案する。各種研修会及び公開研究会への参加を奨励し、実現することができた。指導主事学校訪問の機会を活用した積極的研修に努めたり、校内授業研究を通して、授業をつくり、授業力を向上させていこうとする意欲を喚起・向上させることができた。(清小) ・今年度も、計画どおりに実践し、教師間に分かる・できる・楽しい授業をつくろうとする意識が高まってきている。マンパワーを活用した研修会には小学校教員の参加もあり、小中の接続を意識した研修を深めることができており、来年度も継続する予定である。(色中) 	

教育の重点	4 確かな学力を身に付けさせるための指導と評価の工夫
具体的施策	(1) 教職員の研修の充実と教科等の指導力の向上
主要事業	③ 専門職としての資質と指導力の向上を目指した校内研修体制の整備・充実
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・研究推進委員会を設置し、校内研究のあり方や方針を検討する。職員の特技を生かした現職研修を推進する。(色小) ・校内研修日を金曜日に設定し、学年部会を中心に教材研究や実技研修などを充実させる。(清小) ・学習内容の定着と、表現力の向上を図る指導法の研究を進める。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・研究推進委員会が中心となり、低・中・高学年部や特別支援部が計画的に校内研究に当たれるように提案をした。また、体力づくりに関することや救命救急の研修も実施した。(色小) ・校内研修日を金曜日と設定し、学年部会を中心に教材研究や実技研修などを充実させることができた。「校内研究全体会」の設定と、研究主任による「校内研究だより」の発行で、見通しをもち、一つ一つ課題を解決しながら前に進むことができた1年間であった。(清小) ・一人1回は必ず授業提供をすることを前提に、実践を通した「授業研究」に臨むことができた。「事前研究」⇒「当日の授業」⇒「事後検討会」の流れで、すべての提供授業の検討をすることができたことは、全教員の統一した視点の確立に資するものとなり、大変に有意義だった。(清小) ・校内研修の充実を図ること、またその質を向上させることができた。教員の授業づくりにかける意識が高まりが見られる。さらなる教師の授業力向上のため、授業研究会等を通して、今後も尚一層研修の充実を図り、学力及び表現力向上に努める。(色中) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	4 確かな学力を身に付けさせるための指導と評価の工夫
具体的施策	(1) 教職員の研修の充実と教科等の指導力の向上
主要事業	④ 学習意欲向上のための研究の推進
具体的取組計画等 ・小学校・小学校間, 小学校・中学校間の学習参観を行う。各種研究公開へ参加する。毎週水曜日に研修会を実施する。職員評価の自己目標の設定。(色小) ・月一回の研修日を活用し, 研修会での伝講や同じテーマに基づいた協議を行い, 教師の指導力を向上させる。(色中)	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 ・毎週水曜日の研修日を活用し, それぞれ自己研修・学年部等で研修を深めることができた。(色小) ・指導主事学校訪問等の機会を活用し, 小学校・小学校間, 小学校・中学校間の学習参観を行うことができた。各種研究公開, 研修会等へ積極的に参加することができた。(清小) ・教育の流行について, 常に文科省等の通達について, 職員間に周知徹底を図りながら, 日々の授業実践にあたった。課題や新たな取り組みについて協議する研修日を定期的に行い, 教師の指導力向上に努めた。(色中)	

教育の重点	4 確かな学力を身に付けさせるための指導と評価の工夫
具体的施策	(2) 発達段階と学習内容に応じた指導と評価の工夫
主要事業	① 発達段階に応じた課題設定と評価を踏まえた指導計画の作成
具体的取組計画等 ・指導計画を常に見直し, 朱筆を入れながら次年度の指導計画改善に活用する。(色小) ・形成的評価を重視しながら, 指導と評価にあたる。また, 漢字マラソン, 振り返り学習等, 課外での学習指導を行い, 生徒の学力向上に努める。(色中)	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 ・各学年・学級で年間指導計画をもとに授業を行い, 単元の学習後等に朱書きするなど指導改善に活用した。(色小) ・指導計画を常に見直し, 朱筆を入れながら次年度の指導計画改善に活用することができた。(清小) ・年6回の漢字マラソン(定期的なテスト)及び課外での振り返り学習を確実に実施できた。その成果として, 各アンケート及び学力テストから, 生徒の学習意欲の高まりと数値的な結果が向上してきている。今後は, PISA型の学力の向上に向け, 生徒に提示する課題を検討しながら実践にあたっていく。(色中) ※PISA型とは・・・生徒自身が持っている知識や技能を, 実生活の様々な場面でどれだけ活用できるかを評価するもの	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	4 確かな学力を身に付けさせるための指導と評価の工夫
具体的施策	(2) 発達段階と学習内容に応じた指導と評価の工夫
主要事業	② 分かる授業づくりや自ら学ぶ意欲の喚起と体験的・課題解決的な学習の充実
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本的な内容の指導の徹底。活用力の育成。体験的・課題解決的な学習の実践。(色小) ・各教科において、「学ぶことと生活の関連」を意識させ、総合的な学習の時間とにクロスさせながら、学ぶ意義を涵養する。(色中) 	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・国語、算数を中心に基礎学力向上に努めた。定着を目指し放課後の補充学習にも取り組んでいるが、今後も分かる授業づくりを行い、体験的学習活動などを工夫していく必要がある。(色小) ・基礎的・基本的な内容の指導の徹底に努めた。また、学習した内容を発展させ、活用させる力の育成に努めた。体験的・課題解決的な学習の実践にも意識的に取り組んだ。校内研究の充実を目指し、共通理解・共通行動が取れるように努めた結果、「清水スタイル」の確立を目指す土台が形成されてきた。(清小) ・シラバスの提示、本時の学習のねらいを明確にした授業を通して、学びに見通しを立たせ、意欲を喚起するよう実践した。特に、技能教科では学習内容と生活とを関連させるよう指導した。今後は、シラバスに改善を加え生徒がより自主的・自発的に学習ができるよう、色中学習スタイル(予習→授業→復習)の確立に努める。(色中) ※シラバスとは・・・学年あるいは学期中の授業の計画や内容の概略を各時限ごとに記したもの	

教育の重点	4 確かな学力を身に付けさせるための指導と評価の工夫
具体的施策	(2) 発達段階と学習内容に応じた指導と評価の工夫
主要事業	③ 少人数・習熟度別指導等効果的な指導形態による個を生かす指導の充実
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・3年生以上の算数科において、少人数指導を行う。高学年において、一部教科担任制を導入する。(色小) ・5・6年生算数では、重要単元についてTTや少人数指導で行う。(清小) ・数学・英語で全学年・全時間の少人数指導もしくはTT指導を行い、きめ細やかで、かつ個に応じた指導にあたる。(色中) 	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・3、4年生の算数科で少人数とTT指導を行った。6年生では理科で教科担任制を実施した。3、4年生では、後半に少人数による授業が増え、効果が現れつつある。(色小) ・5・6年生算数では、重要単元についてTT指導や少人数指導で行うように努めるようにした。また、音楽科では、各学年において音楽主任が指導に入り、担任とともに指導を進められるようにした。(清小) ・数学、英語については、全学年でTT及び少人数指導を行った。3年英語では、習熟度別少人数指導を取り入れた。今後も、等質集団あるいは、習熟度別少人数の効果について検証しながら、本校生徒の実態にあった指導形態を工夫する。(色中) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	4 確かな学力を身に付けさせるための指導と評価の工夫
具体的施策	(2) 発達段階と学習内容に応じた指導と評価の工夫
主要事業	④ 評価の観点及び評価規準の設定と活用及び指導と評価の一体化
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・評価基準の設定, 作成を行う。(色小) ・各教科ごとに評価の観点や評価規準を設定して, 指導と評価を意識した授業づくりを充実させる。(清小) ・絶対評価において, 1評定を無くすような教科指導を行う。(色中) 	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・各教科ごとに評価の観点や評価規準を設定し, 指導と評価を意識した授業づくりに努めた。(色小) ・教科ごとに評価の観点や評価規準を設定して, 指導と評価を意識した授業づくりを充実させるように努めた。(清小) ・評価のモデリングを全職員で行い, 共通理解のもと総括的な評価についての学習会を実施した。また, 形成的な評価の理念を基本とし, 指導と評価の一体化にあたるよう努めることを確認した。評価とは, 教師側の授業づくりの結果であることを, より意識しながら指導にあたっていく。(色中) 	

教育の重点	4 確かな学力を身に付けさせるための指導と評価の工夫
具体的施策	(2) 発達段階と学習内容に応じた指導と評価の工夫
主要事業	⑤ 自己評価能力向上のための自己評価・相互評価の在り方の工夫
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・学習評価に自己評価や相互評価を取り入れる。(色小) ・学年の発達段階に応じて, 学習課題に照らし合わせた自己評価を習慣化させて, 学習内容や学び方の振り返りをさせて, 自己評価能力の向上を図る。(清小) ・全教科で授業終了後に自己評価させることで, その意味を理解させ, 次時・今後の取り組みについての向上心を持たせる。(色中) 	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・教科指導において適宜, 自己評価や相互評価を取り入れた。今後も自己評価能力の向上を目指し工夫する必要がある。(色小) ・学年の発達段階に応じて, 学習課題に照らし合わせた自己評価を習慣化させて, 学習内容や学び方の振り返りをさせて, 自己評価能力の向上を図るように努めた。(清小) ・全職員の共通理解のもと, 授業において自己評価活動を行った。概ね自己評価力に向上は見られるものの, さらに自己評価力及び自己肯定感を高められるような工夫が必要である。(色中) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	4 確かな学力を身に付けさせるための指導と評価の工夫
具体的施策	(2) 発達段階と学習内容に応じた指導と評価の工夫
主要事業	⑥ 小・中連携による補充・発展的な学習の工夫及び小学校高学年における一部教科担任制の試行的実施と改善
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・小・中間の学習参観の実施。高学年における専科指導の実施。(色小) ・平成24年度は指導計画作成のための準備期間とし、学習内容の重複やスパイラル構造等について確認する。平成25年度には、小中一貫教育の学年別年間指導計画を完成させる。(色中) 	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・指導主事訪問等を活用し小中相互の授業参観を行った。また6年生においては体育・音楽で中学校教員による授業を行った。(色小) ・小・中間の学習参観の実施に努め、実現することができた。高学年における専科指導(理科)の実施を年間を通して実施することができた。また、行事を中心として、音楽主任が全学級の音楽指導に入り、指導を充実させることができた。(清小) ・小中学校教科代表による「確かな学力部会」に於いて、年間指導計画の作成がスタートした。小学校での既習事項をおさえ中学校での学習内容との関連を踏まえた指導計画作成にあたっている。(色中) 	

教育の重点	4 確かな学力を身に付けさせるための指導と評価の工夫
具体的施策	(2) 発達段階と学習内容に応じた指導と評価の工夫
主要事業	⑦ 標準的な学力検査の実施と結果の分析・活用
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・標準学力調査を実施し、結果を分析する。(色小) ・標準学力調査結果から生徒個々の達成度・到達度を把握し、個に応じた指導に生かす。(色中) 	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・研究部で標準学力調査の結果の分析を行い、実態を把握し日常の指導の充実を図ることができた。(色小) ・標準学力調査を実施し、結果を分析するように努めた。また、町で実施した「学力調査」(4年～6年)についても、全校で結果及び対策について検討する機会をもった。「課題意識」を共有し、さらに清水小学校として統一歩調を取りながら指導を充実させていくために、より一層「校内研修」を充実させていきたい。(清小) ・標準学力調査を4月当初に実施、その結果を分析し、一年間の教科指導に役立てることができた。生徒一人一人のレディネスをより深く把握し、日々の授業にあたらなければならない。(色中) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	4 確かな学力を身に付けさせるための指導と評価の工夫
具体的施策	(3) 児童・生徒の家庭学習の習慣形成
主要事業	① 家庭と連携した生活リズムの見直しと改善
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・スケジュール表を家庭に配布し啓発に努める。朝の会や帰りの会を活用し教師が働きかけを行う。保護者会等での啓発活動。(色小) ・学年の発達段階に応じて、予習→授業→復習のサイクルを習慣化させて、家庭学習の習慣を形成する。(清小) ・生活リズムの向上と学力の関係等を各種たより及び各学年行事で講演会を実施することにより、保護者・生徒への啓発を図る。(色中) 	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳や便りを活用したり、学習参観後の懇談会で話題にしたりして、家庭学習の習慣化を促しているが、まだまだ身に付いていない児童がいる。(色小) ・学年の発達段階に応じて、予習→授業→復習のサイクルを習慣化させて、家庭学習の習慣を形成するように努めた。(清小) ・「はやね・はやおき・朝ごはん」をスローガンに、時機に応じて教師による声かけ及び集会時での講話等での指導や文書により啓発活動を行った。ただ、一部の生徒には、夜遅くまで携帯やゲームをし、体調を崩す者もあり、指導を継続していかなければならない。(色中) 	

教育の重点	4 確かな学力を身に付けさせるための指導と評価の工夫
具体的施策	(3) 児童・生徒の家庭学習の習慣形成
主要事業	② 児童・生徒の発達段階に応じた学習課題の与え方の工夫
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・「家庭学習の約束」「家庭学習の手引き」「国・算シラバス」を配布し、活用を図る。(色小) ・学年の発達段階に応じて、日常の授業の中で、課題設定を習慣化させ、学習課題の与え方を授業研究会の中に盛り込み研修する。(清小) ・把握した実態に即した学習課題の内容を検討するとともにシラバスを改善する。(色中) 	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に配布し活用を図っているが、家庭学習の課題と授業の関連を図るなど、さらに与え方に工夫をしていく必要がある。(色小) ・「家庭学習の約束」「家庭学習の手引き」の活用を図ることができた。(清小) ・学年の発達段階に応じて、日常の授業の中で、課題設定を習慣化させ、学習課題の与え方を授業研究会の中に盛り込み研修することができた。「清水スタイル」として、全校で共通した取り組みを展開できるところまで、準備を進めることができた。(清小) ・家庭学習習慣確立のため、全教科で連携を図りながら、宿題の励行に努めた。また、学年に応じた課題の量やその負荷を見極めながら取り組みを継続していく。(色中) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	4 確かな学力を身に付けさせるための指導と評価の工夫
具体的施策	(3) 児童・生徒の家庭学習の習慣形成
主要事業	③ 自主的な家庭学習習慣の形成に向けた働きかけの工夫
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・スケジュール表及び本読みカード等の活用を図る。(色小) ・本読みカードや自主学習ノートを作成し、家庭に協力を得ながら、子どもたちの自主的な家庭学習の習慣を身に付けさせる。(清小) ・教科間での連携を図り、毎日宿題を与えることで、家庭学習習慣を確かなものにする。(色中) 	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・本読みカードや自主学習ノートの活用など学年に応じて工夫しているが、家庭学習の習慣化をさらに働きかけていく必要である。(色小) ・本読みカードや自主学習ノートを作成し、家庭に協力を得ながら、子どもたちの自主的な家庭学習の習慣を身に付けさせるように働き掛けた。スタートは、4月の第1回「学習参観日」における「PTA全体会」の場であった。「家庭学習の手引き」を配布し、それを参照してもらいながら、全校共通の視点に立ち、家庭学習の重要性を訴えた。その後も、折に触れて啓発を図るようにしてきた。・・・呼び掛けが、そのまま定着していないことは、今後の継続が必要などところである。(清小) ・学習習慣の確立をめざし、全教科で連携を図り、学習内容の復習を通して家庭学習習慣の確立をめざす。今後は、予習・授業・復習といった学習サイクルをより意識した取り組みにより、一層学ぶ意欲を喚起する。(色中) 	

教育の重点	4 確かな学力を身に付けさせるための指導と評価の工夫
具体的施策	(4) 教育環境の整備と有効活用
主要事業	① コンピュータ、視聴覚機器等の活用の工夫
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間で「コンピュータリテラシー」の指導を実施する。各教科・領域で視聴覚機器を活用した効果的な学習指導を行う。(色小) ・最新の情報機器についての研修会を定期的実施し、効果的な指導法を共有しながら積極的な活用を図る。(清小) ・デジタル教科書の活用を試みるなど、視覚にうったえる授業づくりに尽力する。(色中) ※コンピュータリテラシーとは・・・コンピュータを操作して、必要な情報を得ることができる知識と能力のこと 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータは各学年計画的に指導をしている。視聴覚機器では特に教材提示装置が有効である。(色小) ・最新の情報機器についての研修会を定期的実施し、効果的な指導法を共有しながら積極的な活用を図ることができた。(清小) ・視聴覚機器を活用した授業に取り組む教員が固定化しており、さらに活用しようとする意識を高めるとともに、スキルを身に付ける必要がある。(色中) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	4 確かな学力を身に付けさせるための指導と評価の工夫
具体的施策	(4) 教育環境の整備と有効活用
主要事業	② 学校支援ボランティア等地域人材の活用
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・6月に歯科校医による「歯を大切にしよう」と題して講話を実施。5年生は、内科校医による「体の成長と変化」と題する講話を実施する。(色小) ・凧作り(凧の会),エゴマ栽培(エゴマ栽培組合),薬物乱用防止(仙台ダルクの会),福祉体験,学習支援その他,学校支援ボランティアを活用する。(色小) ・「睡眠と成長」「感染症」「虫歯予防」「視力とテレビゲーム」等について。(清小) ・1・2年の生活科や3年以上の「総合的な学習」の時間で,学校支援ボランティアを活用する。(清小) ・学校行事(学習発表会等)や図書館・情報教育等で活用する。(清小) ・授業のみならず,部活動等(テニス・バスケットボール・陸上・吹奏楽)で外部講師を活用する。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・歯科校医による講話,凧づくり等は実施することができたが,さらに学校支援ボランティアの活用を図っていく必要がある。(色小) ・凧作り(凧の会),エゴマや稲の栽培活動,薬物乱用防止(加美警察署),福祉体験(福祉センター),裁縫やミシン,その他,可能な限り多くの場面で,学校支援ボランティアを活用するように努め,また,実現することができた。(清小・清幼) ・祖父母参観で歯科校医から講話をもらったり,学習参観日には6年生で「食に関する学習」の講師を大学の講師に務めてもらったりするなど,多くの人から,子どもたちの指導・支援に協力をもらうことができた1年間であった。(清小) ・各部活動で外部講師による専門的な指導を受けることができており,今後も,こうした取り組みを継続していく。(色中) 	

教育の重点	5 各発達段階に応じた「志教育」の推進
具体的施策	(1) 発達段階に応じた「志教育」の推進
主要事業	① 自他のよさに気付かせ個性を伸ばす指導の工夫
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・体験活動を通して自己有用感を育成する。(色小) ・町内等各職場での職業体験学習(2年)を実施する。(色中) 	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・各教科や総合的な学習の時間を通し,体験活動を工夫し充実させていく必要がある。(色小) ・体験活動を通して,「自己有用感」を育成することができるようにすることを目指したが,十分に達成できたとは言いがたい。(清小) ・1年生の平泉校外学習,2年生の職場体験学習を実施した。両活動とも,ねらいを十分に達成することができ,来年度も同様に実施する予定である。(色中) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	5 各発達段階に応じた「志教育」の推進
具体的施策	(1) 発達段階に応じた「志教育」の推進
主要事業	② 将来への夢や希望を持ち実現を目指す姿勢の育成
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・将来の自分の生活や職業について、学習や体験活動を通して考えさせる。(色小) ・町内等各職場での職業体験学習や立志式(2年)を実施し、将来について考える機会とする。(色中) 	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・学級の時間や総合的な学習、校外学習等の計画に発達段階に応じた体験を意図的に入れていく必要がある。(色小) ・将来の自分の生活や職業について、学習や体験活動を通して考えさせる機会をもつことができた。(清小) ・生徒個々に将来に夢や希望をもたせるために、学級活動での指導や体験学習を重視し、実践した。立志式では、2学年生徒全員が将来の自分の姿を思い描き、自己研鑽に努めようとする姿勢がうかがえた。今後も、宮城県の志教育をベースに、日々指導に努める。(色中) 	

教育の重点	5 各発達段階に応じた「志教育」の推進
具体的施策	(1) 発達段階に応じた「志教育」の推進
主要事業	③ 小・中・高等学校や家庭・地域社会との連携によるキャリア教育の推進
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭での手伝いや学級の係活動や清掃活動を通して、自分の役割や責任を果たすことの喜びを体験させる。(色小) ・総合的な学習の時間では、地域の学校支援ボランティアの働く姿や体験活動を通して、働くことの意義を感じさせる。(清小) ・進路指導室の活用計画や利用の手引きを作成し、上級学校や就職先に関する資料の収集と整理と活用に努める。(色中) 	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・児童の多くは家庭での役割がそれぞれあり、学校でも自分の役割を自覚し、責任をもって係活動や清掃活動に取り組んでいる。(色小) ・「総合的な学習の時間」等で地域の学校支援ボランティアの働く姿や体験活動を通して、働くことの意義を感じさせることができた。(清小) ・生徒及び保護者に対して、進路に関する適切かつ最新の情報提供に努めた。3年生では、高校3年生を講師にむかえ、「先輩の話を聞く会」を実施した。今年度は、3年生を対象に、県内の大学での体験学習を実施し、成果をあげることができた。(色中) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	5 各発達段階に応じた「志教育」の推進
具体的施策	(1) 発達段階に応じた「志教育」の推進
主要事業	④ 働く喜びや勤労の尊さを経験させる啓発的体験活動の実施
具体的取組計画等 ・勤労体験活動や係活動、清掃活動、家庭での手伝いの推進。(色小) ・1年「鮎の放流」、2年「干し柿づくり」、3年「エゴマ栽培」、4年「じゃがいも栽培」、5年「もち米の栽培」、6年「職場体験」を実施し、学校支援ボランティアの活用を図る。(清小) ・町内等各職場での職業体験学習(2年)を実施する。(色中) ・1年:校外学習,介護ボランティア研修 2年:職業体験学習,立志式 3年:修学旅行。(色中)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・たてわり活動にも勤労体験を取り入れ、係活動や清掃活動への自主的な取り組みを促している。(色小) ・計画を変更した活動もあったが、1年「鮎の放流」、2年「サツマイモ栽培」、3年「エゴマ栽培」、4年「サツマイモ栽培」、5年「もち米の栽培」、6年「職場体験」を実施し、学校支援ボランティアの活用を図ることができた。(清小) ・各学年での体験学習や愛校作業(学期に一度の校内美化活動)及び日々の清掃活動に熱心に取り組んでおり、今後もこうした実践を継続していく。(色中)	

教育の重点	6 豊かな心で互いに認め合い高め合う人間関係の醸成
具体的施策	(1) 豊かな心をはぐくむ道德教育の推進
主要事業	① 全教育活動を通じた道德的価値観の高揚と実践力の育成
具体的取組計画等 ・道德の時間の確保。道德の授業の研修。道德教育推進教師を中心とした指導や授業改善。(色小) ・本校で取り組んでいる「あいさつ運動」を中心にして、思いやりの心を育てる教育活動を推進する。(清小) ・全校で「言葉づかい」について振り返る場を設定する。(清小) ・善行を表彰する。(色中)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・道德教育推進教師のリードのもと、どの学年も計画的に道德の時間に取り組んでいる。(色小) ・本校で取り組んでいる「あいさつ運動」を中心にして、思いやりの心を育てる教育活動を推進することができた。(清小) ・全校で「言葉づかい」について振り返る場を設定することができた。(清小) ・道德教育推進教師を中心に道德の授業のさらなる充実に努めた。また、日々の教育活動が道德心を培う場であることを共通理解している。年度末には、その年に善行を行った生徒を表彰し、善行を奨励しており、今後も継続していく。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	6 豊かな心で互いに認め合い高め合う人間関係の醸成
具体的施策	(1) 豊かな心をはぐくむ道德教育の推進
主要事業	② 道德的価値観の内面化を図る指導の工夫と充実
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・児童が共感したり考えの違いを理解したりする, 心に響く道德的実践力を養う。(色小) ・日常的に道德の授業を互いに参観し合って研修を深める。(清小) ・道德ノートの活用の仕方について研修する。(清小) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・道德担当教諭を中心に, 低・中・高学年部及び特別支援部が, それぞれ資料の吟味をしたり授業について話し合いをもったりしている。(色小) ・日常的に道德の授業を互いに参観し合って研修を深めることができた。(清小) ・道德ノートの活用の仕方について, 研修することができた。(清小) ・資料の価値分析を通し, 一単位の授業においてどの価値に重点を置いて指導するかを徹底した。(色中) 	

教育の重点	6 豊かな心で互いに認め合い高め合う人間関係の醸成
具体的施策	(1) 豊かな心をはぐくむ道德教育の推進
主要事業	③ 命を大切に作る心や道德的実践力を養う体験的な活動の充実
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・体験的活動やボランティア活動の推進。各教科指導や学校行事との関連を示した年間指導計画を活用する。(色小) ・各教科指導や学校行事など, すべての教育活動において道德的価値の関連性を図り, 年間指導計画を作成する。(清小) ・道德の授業づくりについて研修を充実する。(清小) ・年間指導計画に基づき, 学年毎に道德の時間の指導について事前に検討する。(色中) ・道德の資料を発掘し, 指導計画に位置づける。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画を活用, 命を大切に作る心情や道德的実践力を養う体験的な活動の充実をさらに図っていく必要がある。(色小) ・各教科指導や学校行事など, すべての教育活動において道德的価値の関連性を図り, 年間指導計画を作成することができた。(清小) ・道德の授業づくりについて, 研修の充実を図ることができた。(清小) ・道德の時間で生命の尊重に関する資料を扱うことはもちろん, 3年生では, 講師を招聘し, 生命の授業を行い道德的実践力を高める活動を行った。今後も継続していく。(色中) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	6 豊かな心で互いに認め合い高め合う人間関係の醸成
具体的施策	(1) 豊かな心をはぐくむ道德教育の推進
主要事業	④ 家庭や地域社会との連携による道德教育の充実
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・参観や学級懇談を通して、よりよい子どもの姿を求めて相互に話し合う。伝習館の見学。福祉施設との交流。(色小) ・道德の時間での活用方法について共通理解を図る。(清小) ・家庭への啓発を図り、連携して活用できるようにする。(清小) ・道德の資料を常時教室に置いて、学級活動や総合的な学習の時間等でも活用する。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・参加者は限られていたがPTCやPTAなどの活動も各学年行うことができた。また、町の施設も校外学習等で交流を図ることができた。伝習館の見学は6年生、福祉施設との交流は4年生で実施できた。(色小) ・道德の時間での活用方法について共通理解を図ることができた。(清小) ・家庭への啓発を図り、連携して活用できるようにすることができた。(清小) ・学校、学年、学級だより及び校長室だよりを通して、保護者の意識啓発に努めた。学校評議員、地域の人々から、色中生は、「あいさつが素晴らしい」という声を聞くことができた。(色中) ※PTCとは・・・Parents(保護者) Teachers(先生) Children(児童)の略で、保護者と児童、先生と一緒に教育活動を行うこと 	

教育の重点	6 豊かな心で互いに認め合い高め合う人間関係の醸成
具体的施策	(1) 豊かな心をはぐくむ道德教育の推進
主要事業	⑤ 人権教育との関連を図り一人一人が大切にされる人間関係の醸成
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・人権養護委員の道德授業参観とお話。(色小) ・たてわりグループごとに「あいさつ運動」を担当させて、どの子も思いやりの心を育てるようにする。(清小) ・他を思いやる「言葉づかい」を意識させ、人とかかわる力を身に付けるようにする。(清小) ・生徒会からの呼びかけによる、いじめ根絶宣言を生徒全員が表記し、年間を通して掲示することで人権意識を高める一助とする。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員2名により1年生2学級で人権に関する授業を行い、話をもらうことができた。(色小) ・人権養護委員による道德授業参観と話をもらうことができた。また、「人権に関する啓発ポスター」には、5・6年生の全員が取り組み応募することができた。(清小) ・たてわりグループごとに「あいさつ運動」を担当させて、どの子も思いやりの心を育てるようにすることができた。(清小) ・他を思いやる「言葉づかい」を意識させ、人とかかわる力を身に付けるように努めることができた。(清小) ・学校、学年、学級だよりを通して、保護者の意識啓発に努めた。また、学期毎のいじめに関するアンケートを行い、常に実態を把握した。(色中) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	6 豊かな心で互いに認め合い高め合う人間関係の醸成
具体的施策	(2) 望ましい人間関係づくりを目指す生徒指導の充実
主要事業	① 児童・生徒理解を基本に据えた積極的な生徒指導の展開
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・常に情報交換に努め、実態把握や共通理解を図る。生徒指導主任を中心とし迅速な対応を心がける(色小・清小) ・基本的な生活習慣や廊下歩行・正しい言葉づかいなどを学級活動と関連付けて指導する。道徳やその他の全教育活動を通して規範意識を高める。(色小) ・月1回の生徒指導・特別支援会議を定例化する。(清小) ・打ち合わせや職員室での日常的な会話から児童理解を図る。(清小) ・児童理解や特別支援教育の研修の充実。(清小) ・朝会や全校集会の場で、集団行動のルールやマナーの指導を徹底する。(清小) ・生活・学習面において全校で共通した指導や約束を徹底する。(清小) ・毎週水曜日はPTAや地区の人々にも協力を呼びかける。(清小) ・職員会議や打ち合わせ等、あらゆる機会をとらえて共通理解を図る。(色中) ・生徒会活動として、4～6月は部活動単位、7～3月は学級単位で、PTA活動として、9～10月に地区毎に、それぞれ登校時間帯に昇降口であいさつ運動をする。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の指導のねらいを明確に指導にあたるとともに、生徒指導主任を中心に円滑な情報交換が行われ迅速に対応できている。今後も日常の積み重ねを大切に学校教育全体を通じ規範意識の高揚を図っていく。(色小) ・「すべての児童を、すべての教職員で育てる」ことを合言葉として、常に同じ思いで児童に向かうことができたことが、今年度の大きな成果である。(清小・清幼) ・常に情報交換に努め、実態把握や共通理解を図ることができた。月1回の生徒指導・特別支援会議を定例化するように努めた。また、打ち合わせや職員室での日常的な会話から、児童理解を図ることができた。(清小) ・児童理解や特別支援教育の研修の充実を図ることができた。(清小) ・朝会や全校集会の場で、集団行動のルールやマナーの指導を徹底することができた。(清小) ・チャンス相談や日々の声がけを通して生徒との信頼関係構築に努めた。また、問題行動のみならず日々の生徒の様子について教師間で情報を交換している。保護者によるあいさつ運動を定期的実施することでもできており、今後も継続していく。(色中) 	

教育の重点	6 豊かな心で互いに認め合い高め合う人間関係の醸成
具体的施策	(2) 望ましい人間関係づくりを目指す生徒指導の充実
主要事業	② いじめや不登校の未然防止及び早期発見・対応を目指した取組の充実
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・「よいすいみん、よいめざめ、そして朝ごはん」を柱とした基本的な生活習慣の定着を図る。いじめや不登校を早期発見する教師の力と指導力を高める。(色小) ・年間3回、いじめに関するアンケートを生徒対象に行い、現状を把握し早期発見に努める。また、不登校解消のために外部機関との連携を強める。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・いじめアンケートを実施したり、日常の観察等で問題の把握に努めてたりしているので、いじめや不登校問題を抱えている児童はいない。しかし今後も兆候を見逃さず、適切に対応をしていかなければならない。(色小) ・毎月1回、「いじめに関するアンケート」を実施し、いじめの実態把握に努めることができた。残念ながら、いじめの発生が「0」というわけにはいかなかったが、早期発見・早期対処ができたことで、児童の心にも大きな傷を残さずに済んだ。また、生徒指導に関する事柄も、すべてを教職員に開き、全体の問題として捉え、対応することができた。(清小) ・いじめアンケート及び教師の生徒観察により、いじめの未然防止及び早期発見に努め、対応することができた。また、この実態を学校評議員にも報告し、助言をもらっている。(色中) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	6 豊かな心で互いに認め合い高め合う人間関係の醸成
具体的施策	(2) 望ましい人間関係づくりを目指す生徒指導の充実
主要事業	③ 家庭や地域社会、関係機関との緊密な連携による生徒指導の充実
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりの学区内全家庭への配布。民生委員や区長との情報交換会の実施。有線放送を活用した学校情報の提供や地域との協力推進。(色小) ・学期ごとに「かさまっつ子を語る会」を開催し、児童理解と情報の共有の場を設置する(メンバー:PTA, 民生委員や保健師, スポーツ少年団の会長, しかまっ子担当者等と教職員)。(清小) ・文化祭の昼食を、保護者(PTA)がバザーで提供する。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりの配布は区長の協力のもと学区内の全家庭へ配布している。民生委員、ウォーキングパトロール隊との情報交換会はそれぞれ年1回開催している。(色小) ・学期ごとに「かさまっつ子を語る会」(学校関係者評価)を開催し、児童理解と情報の共有の場を設置することができた。それぞれの立場から発言をもらい、充実した情報交換ができた(メンバー:PTA, 民生委員や保健師, スポーツ少年団の会長, しかまっ子担当者等と教職員)。また、学校評議員会は、年に2回実施することができ、学校の教育活動に対して、大変高い評価をもらうことができた。(清小) ・年3回学期末に「生徒指導等問題対策会議」を開催し、関係機関、保護者代表、地域民生児童員、保護司に参加してもらい、対応について協議する場を設けている。その都度、適切な助言をもらい、指導に役立てることができた。(色中) 	

教育の重点	6 豊かな心で互いに認め合い高め合う人間関係の醸成
具体的施策	(2) 望ましい人間関係づくりを目指す生徒指導の充実
主要事業	④ 個々の存在感を高め、正義感を持って生きる自己指導能力の育成
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣や廊下歩行・正しい言葉づかいなどを学級活動と関連付けて指導する。道徳やその他の全教育活動を通して、規範意識を高める。(色小) ・新学習指導要領に基づき、学級活動指導計画を全面的に改訂し、実態に即した実践を展開する。(清小) ・日常的に保護者や児童の相談ができるよう、相互の信頼関係を築く。(清小) ・1学期中に教育相談(二者面談)を行うよう努力し、11月に定期教育相談(三者面談)を実施する。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・毎月生活目標を定め、基本的な生活習慣の形成に努めている。今後も教育活動全体を通じて規範意識を育てていく必要がある。(色小) ・基本的な生活習慣や廊下歩行・正しい言葉づかいなどを学級活動と関連付けて指導するように努めた。道徳やその他の全教育活動を通して、学校全体として、規範意識を高めるように努めることができた。(清小) ・新学習指導要領に基づき、学級活動指導計画を全面的に改訂し、実態に即した実践を展開することができた。(清小) ・日常的に保護者や児童の相談に対応できるよう、相互の信頼関係を築くように努めた。(清小) ・定期的な教育相談を通して、生徒の悩みに心を傾け、生徒・教師間のよき人間関係を築くよう努力した。その結果、問題行動等はほとんどなく、落ち着いて諸活動に取り組む雰囲気が醸成されている。(色中) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	6 豊かな心で互いに認め合い高め合う人間関係の醸成
具体的施策	(2) 望ましい人間関係づくりを目指す生徒指導の充実
主要事業	⑤ 定期相談やチャンス相談等による教育相談体制の充実
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラー来校日や教育相談日、その効果を広報等を使って広く紹介する。(色小) ・生徒の言動を把握し、教育相談コーディネーターが中心となり教職員間で共通理解を図りながら、相談・支援にあたる。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・年6回のスクールカウンセラー来校日を便りで示したり、家庭訪問や夏休みの定期相談、日常のチャンス相談を大切に。また、担当を中心にチームで対応することを重視し、相談体制の充実を図った。(色小) ・スクールカウンセラー来校日等を、「学校だより」で紹介したり、特に教育相談が望ましい保護者には電話で直接相談を勧めたりするなど、積極的な活用を心掛け、実践することができた。(清小) ・担任による日々の生徒観察やチャンス相談が適宜行われ、生徒個々へ配慮すべき事項の共通理解が図られ対応できている。(色中) 	

教育の重点	6 豊かな心で互いに認め合い高め合う人間関係の醸成
具体的施策	(2) 望ましい人間関係づくりを目指す生徒指導の充実
主要事業	⑥ スクールカウンセラーや相談員、関係機関との連携による適応指導の工夫
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・保護者や教員がスクールカウンセラーと相談しやすい環境を作り、児童の適応指導を効果的に進める。関係機関との情報交換に努める。(色小) ・地域で取り組んでいる「あいさつ運動」を継続し、思いやりの心を育てる教育活動を推進していく。(清小) ・「言葉づかい」から見直させ、人間関係の醸成を図る。(清小) ・スクールカウンセラー及び外部関係機関との連携を密にするために、教育相談コーディネーター・教頭・養護教諭が協力して対応策を検討し、教職員間の共通理解を図る。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーの来校日は限られていたが教員との情報交換は随時行うことができた。また、保護者の理解を得て関係機関との連携のもと適応指導を行っている児童もいる。(色小) ・色麻小学校と清水小学校で年に6回ずつ「スクールカウンセラー」の来校日を設定してもらったことにより、課題をもつ児童に対して、専門的な見地から働き掛けることができた。また、保護者との面談を実施することができたり、教師がスクールカウンセラーに相談したりするなど、有意義な連携を図ることができた。(清小) ・地域で取り組んでいる「あいさつ運動」を継続し、思いやりの心を育てる教育活動を推進していくことができた。(清小) ・スクールカウンセラーと職員の窓口として、教育相談コーディネーターがその役割としての責任を十分に果たしている。不登校生徒への対応については、スクールカウンセラーのみならず町福祉課、民生委員の協力も得られており、今後も継続していく。(色中) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	6 豊かな心で互いに認め合い高め合う人間関係の醸成
具体的施策	(3) 望ましい集団づくりを目指す特別活動の推進
主要事業	① ボランティア活動等異年齢集団による実践活動の充実
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・奉仕活動、交流を含む学校行事や総合的な学習の時間、クラブ活動や委員会活動など、協力してよりよい集団を築こうとする実践の場を設定する。(色小) ・生徒会がボランティア活動(花いっぱい・あいさつ運動)を企画し、多くの生徒の参加を促す。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事やその準備時間、クラブ活動、たてわり活動などを通じ、異年齢集団の活動を行っている。また、高学年が低学年を見守る場面も設定している。(色小) ・たてわり活動の充実、率先して「他のために」働く活動や視点の充実を図ってきた。異年齢での活動は、大変充実している。例えば、「たてわり遊び」や「たてわり給食」だけではなく、「たてわり清掃」「たてわりによる除草活動・石拾い活動」など、労働を伴った活動も設定しているため、リーダーを中心にして、協力して活動する姿勢や態度が身に付いている。このことは、幼稚園児との活動にも幅広く見られるようになってきている。(清小・清幼) ・生徒会の呼びかけによるボランティア活動へ参加する生徒が増加し、意識の高まりが見られる。(色中) 	

教育の重点	6 豊かな心で互いに認め合い高め合う人間関係の醸成
具体的施策	(3) 望ましい集団づくりを目指す特別活動の推進
主要事業	② 望ましい集団づくりのための体験的な活動の充実
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・クラブ活動や学校行事、委員会活動などの体験的な活動の場の設定。(色小) ・福祉委員会によるあいさつ運動と計画委員会による善行の紹介と表彰。(色小) ・朝の会で「生活のめあて」を決めさせ、帰りの会でその達成度について自己評価させる。(清小) ・何でも言い合える学級づくりをめざす。(清小) ・代表委員会を設定し、学校生活の諸問題の解決や児童会行事などの自主的な運営をめざす。(清小) ・たてわり活動の活性化を図り、異年齢活動の機会を設定する。(清小) ・朝の会や帰りの会等を活用し、話し合い活動の充実に努める。(色中) ・いじめ根絶の取り組みを生徒会中心に行う。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの分掌で、担当がクラブ活動や委員会活動の充実に工夫を凝らしている。また、あいさつ運動は保護者の活動も含め、年間を通して実施している。(色小) ・朝の会で「生活のめあて」を決めさせ、帰りの会でその達成度について自己評価させることができた。(清小) ・全校を通して、何でも言い合える学級づくりを目指すことができた。(清小) ・代表委員会を設定し、学校生活の諸問題の解決や児童会行事などの自主的な運営を目指すことができた。(清小) ・意図的に「たてわり活動」を取り入れ、活性化を図ることができた。大変に充実した活動が展開できた。このことを通して、児童間の豊かな人間関係づくり、温かな学校づくりに大きく寄与しているものと考えている。(清小) ・学級活動時にMAPを取り入れた活動を行い、望ましい集団づくりに努めた。今後は、さらにMAPの回数を増やすことをはじめ、キャンプハンディー体験等も実施したい。(色中) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	6 豊かな心で互いに認め合い高め合う人間関係の醸成
具体的施策	(3) 望ましい集団づくりを目指す特別活動の推進
主要事業	③ 家庭や地域社会との連携による体験的な活動を通じた豊かな人間性の育成
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・公民館や各種団体が行う講座・教室等の積極的な紹介や活用を図る。PTA活動, PTC活動, 地域奉仕活動, 美化清掃活動, 子供会活動, 募金活動などの実施。(色小) ・1, 2年生活科の「まち探検」や3年以上は総合的な学習の時間の体験活動を通して, 人間の生き様に触れさせる。(清小) ・高齢者との触れあい体験学習を行い, 共生社会を築こうとする態度を育む。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・今年度はPTC活動やPTA活動に積極的に取り組む学年が多かった。さらに地域では充実した子供会活動ができていて, 美化活動を行っている地域もある。(色小) ・公民館や各種団体が行う講座・教室等の積極的な紹介や活用を図る。PTA活動, PTC活動, 地域奉仕活動, 美化清掃活動, 子供会活動, 募金活動などの実施。(色小) ・1, 2年生活科の「まち探検」や3年以上は総合的な学習の時間の体験活動を通して, 人間の生き様に触れさせる機会を多くもつことができた。様々な交流体験を充実させることができた。幼稚園でも同様である。(清小・清幼) ・町社会福祉施設でのお年寄りとの交流活動や幼稚園での保育体験等を実施し, 豊かな人間性の育成に努めた。(色中) 	

教育の重点	6 豊かな心で互いに認め合い高め合う人間関係の醸成
具体的施策	(3) 望ましい集団づくりを目指す特別活動の推進
主要事業	④ 各教科や領域との関連を踏まえ, ねらいを明確にした学校行事の充実
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・国語科の「話すことと聞くこと的能力」や外国語活動の「コミュニケーション能力」の発揮の場の工夫。(色小) ・「清水ふれあい祭り」の内容や持ち方を見直し, 各教科や領域で学んだことの発表の場としての意義や保護者・コミュニティーセンターと連携を図り, 行事を充実させる。(清小) ・学校行事が生徒にとって学校生活のアクセントとなっていることを踏まえながら, 新学指導要領実施に伴う授業時数増に対応するために, 学校行事の精選を図る。(色中) 	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・朗読会やスピーチ会, 学芸会, あたご祭など, 発表力や表現力を養う学校行事の充実を図る。(色小) ・各教科や領域で学んだことの発表の場としての意義や保護者・コミュニティーセンターと連携を図り, 行事を充実させることができた。(清小) ・各学校行事のねらいを明確にし, 各教科・領域・総合的な学習の時間と関連付け, 諸行事を実施することができた。また, 新学習指導要領実施に伴う授業時数増に対応するために, 諸行事の精選も図った。(色中) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	7 学校体育, 保健・安全教育, 食育指導の充実
具体的施策	(1) 進んで運動に親しみ, 体力の向上と運動を楽しむ姿勢を育成する指導の充実
主要事業	① 心身の発達段階に応じた指導の工夫
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・校内持久走大会で, 低学年は1km, 中学年は1.5km, 高学年は2kmを走る。大会1か月前から全校児童が業間に校庭で練習する。(色小) ・休み時間や放課後は外遊びを奨励し, 雨天時や冬季は講堂を開放して体力の向上に努める。(色小) ・音楽を流して5分間程度自分のペースで校庭を走る。(清小) ・体育館の使用割り当てにより, 縄跳びの跳べない種目を中心に練習する。(清小) ・全校持久走の実施(業前, 業間), 学年ごとにコースを設定し, 一人一人目標タイムに向けて取り組ませる。(清小) ・教師も率先して一緒に外遊びをする。ボールを貸し出し, たてわり活動ドッジボール集会用コートを開放する。(清小) ・PTA等の協力を得ながら, 校内マラソン大会を実施する。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・校内持久走大会には各自自己記録更新を目標に熱心に取り組んだ。ボール投げや立ち幅跳びを苦手とする児童が多いので, 体育の準備体操や業間の外遊びの内容を工夫させた。(色小) ・「業前朝マラソン」の時間を設定し, 音楽を流して5分間程度自分のペースで校庭を走るようにした。(清小) ・主として冬季間, 持久走が行えない時には, 体育館の使用割り当てにより「朝縄跳び」を設定し, 跳べない種目を中心に練習することができるようにした。(清小) ・全校持久走の実施(業前, 業間), 学年ごとにコースを設定し, 一人一人目標タイムに向けて取り組ませることができた。(清小) ・校内持久走大会は, 行事の精選により, とりやめにした。生徒の体力向上及び運動に親しませるために, 保体での体力向上, 部活動の充実を図った。今後は, より体力を向上させるために, 自転車通学の奨励や陸上大会, 駅伝大会に向けた練習により多くの生徒に参加させるよう努めていくとともに, 運動会や持久走大会を実施する予定である。(色中) 	

教育の重点	7 学校体育, 保健・安全教育, 食育指導の充実
具体的施策	(1) 進んで運動に親しみ, 体力の向上と運動を楽しむ姿勢を育成する指導の充実
主要事業	② 進んで運動に親しみ生涯スポーツの基礎を培う体育
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・加美郡陸上競技大会や大崎陸上競技大会等への積極的参加を促す。(色小・清小) ・4月から継続的に取り組ませ, 選手のみならず, すべての児童の走力を中心に向上させる。(清小) ・郡中総体, 郡中体連陸上競技大会, 郡中体連駅伝大会等に積極的に参加する。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・学年毎に参加できるようになった加美郡陸上大会へは多くの児童が参加し, 特に低学年で好成績を修めた。(色小) ・大崎陸上競技大会等への積極的参加を促すことができた。4年生100メートル優勝を始め, 入賞した種目も多く, 健闘が目立った。(清小) ・4月から継続的に取り組ませ, 選手のみならず, すべての児童の走力を中心に向上させるように努めた。(清小) ・部活動単位での各大会への参加を奨励し, 運動が好きな生徒を増やすために尽力した。ただ, 運動嫌いの生徒も多く, 軽運動を保体に取り入れる等の工夫が必要である。(色中) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	7 学校体育, 保健・安全教育, 食育指導の充実
具体的施策	(1) 進んで運動に親しみ, 体力の向上と運動を楽しむ姿勢を育成する指導の充実
主要事業	③ 体力・運動能力の向上を目指した日常的な体育活動の設定
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画に基づいた, 運動の楽しさを味わわせる指導をする。(色小) ・個人差を重視し, 児童の自発的な運動の取り組みを行う。(色小・清小) ・水泳記録会や持久走大会, 縄跳び大会の実施と記録証等の交付。(色小・清小) ・体力テストや児童の実態, さらに保護者の願いを基に, 年間指導計画の自校化を図る。(清小) ・持久走や縄跳び運動など, 継続的に全校体制で取り組む。(清小) ・運動の特性に応じた自己課題の解決を目指した活動を工夫する。(清小) ・病気の予防法および健康な生活の大切さを理解させ, 健康の保持増進を図る。(清小) ・年間指導計画に基づき, 運動の楽しさを味わわせる指導に努める。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・どの学年も年間指導計画に基づいて概ね指導ができています。水泳記録会や校内持久走大会にも各自目標をもって精一杯取り組んでいる。(色小) ・個人差を重視し, 児童の自発的な運動の取り組みを行うことができた。(清小) ・水泳記録会や持久走大会, 縄跳び大会の実施と記録証等の交付を, 予定通り実施することができた。(清小) ・体力テストや児童の実態, さらに保護者の願いを基に, 年間指導計画の自校化を図るように努めた。(清小) ・持久走や縄跳び運動など, 継続的に全校体制で取り組むことができた。特に「朝マラソン」や「朝縄跳び」では, 教師も積極的に参加し, 子どもたちとともに取り組むことができた。(清小) ・病気の予防法および健康な生活の大切さを理解させ, 健康の保持増進を図ることができた。(清小) ・部活動や保体等, 日常的な体育活動に休まずに参加するよう指導してきた。今後は, もっと多くの生徒が, 体育活動に参加し, 体力向上に努めるような支援策を検討・実施しなければならない。(色中) 	

教育の重点	7 学校体育, 保健・安全教育, 食育指導の充実
具体的施策	(2) 食生活に関する正しい知識と望ましい食習慣形成を図る食育指導の充実
主要事業	① 栄養教諭による発達段階に応じた食育指導及び給食指導の実践と改善
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・学校に給食センターの栄養士が年間15回来校し給食指導する。年間指導計画に基づく学級指導の実施。(色小) ・学校給食運営委員会の年2回実施。(清小) ・給食センターからのお便りをもとに, 確実に学級で指導を行う。(清小) ・給食委員会の児童が中心となって給食に関する児童集会を行う。(清小) ・食材がどこから来たのかを調べたり, 学校の畑で栽培した食材を実際に食べたりしてみる。(清小) ・月予定献立表や給食だよりを発行し全生徒(家庭)に配布する。(色中) ・栄養士の原稿により, 昼の校内放送で放送委員が解説する。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・低学年は年2回, その他の学年は年1回栄養士からの給食指導を受けている。月ごとの目当てを定めて給食指導を行っている。(色小) ・給食センターの栄養士が, 各学年に年2回ずつ来校してもらい, 配膳・食事の様子を参観・指導したり, 食に関する話をしてもらいなど, 計画的に実施することができた。幼稚園では, そのうち1回を, 保護者に参観してもらい, 食に関する啓発に努めることができた。(清小・清幼) ・学校給食運営委員会を, 年1回実施した。計画では2回の予定だったが, 1回目が大変充実したことと, それ以降の継続した情報交換体制が確立したために, 会としては持たなかったが, 支障はなかった。(清小) ・栄養士による給食だよりをもとに, 確実に学級で指導を行うことができた。(清小) ・給食委員会の児童が中心となって, 「給食週間」には, 給食に関する児童集会を行った。(清小) ・食材がどこから来たのかを調べたり, 学校の畑で栽培した食材を実際に食べてみる事ができた。(清小) ・栄養士による給食だよりや昼の校内放送での給食メニューの説明を通して, 食育指導を行った。今後は, 外部指導者や栄養士による講話等を企画し, 食育をより充実させなければならない。(色中) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	7 学校体育, 保健・安全教育, 食育指導の充実
具体的施策	(2) 食生活に関する正しい知識と望ましい食習慣形成を図る食育指導の充実
主要事業	② 家庭や地域社会と連携した望ましい食習慣形成と生活習慣病予防のための指導
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・「よいすいみん・よいめざめ・そして朝ごはん」運動の推進。(色小) ・年1回全学級に給食センターの栄養士が来校し給食指導を参観・指導する。(清小) ・学力向上パワーアップ事業の一環として, 朝ごはんメニューコンクール等への参加を通して, 朝ご飯の大切さについて考えさせる。(清小) ・自分で弁当をつくることで, 家族への感謝の思い, 栄養のバランス等食習慣を見直す機会とする。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・たよりや懇談会などで朝ごはんの大切さを発信しており, 家庭の理解の下, ほとんどの児童が朝食を摂って登校している。(色小) ・「生活習慣に関する調査」を実施し, 就寝・起床時刻, 食事のとり方等, 日常生活の様子を把握するように努めた。(清小) ・全学級に, 年2回ずつ, 給食センターの栄養士が来校し給食指導を参観・指導してもらうことができた。(清小・清幼) ・「自分でつくる弁当の日」を年4回行い, 望ましい食習慣について考えさせる一助とした。また, 養護教諭による保健だより, 食と生活習慣病の関係についてのコラムを設け, 生徒・保護者への啓発を図った。(色中) 	

教育の重点	7 学校体育, 保健・安全教育, 食育指導の充実
具体的施策	(2) 食生活に関する正しい知識と望ましい食習慣形成を図る食育指導の充実
主要事業	③ 食事を通した望ましい人間関係をはぐくむ指導の充実
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・世話になっている人々にお礼の手紙を書いたり, プレゼントしたりする。また, 世話になっている人々を学校に招いて感謝集会を実施する。(色小) ・月予定献立表や給食だよりを発行し各家庭に配布する。(色中) ・学校給食の変遷等を給食だよりや昼の校内放送で生徒に伝える。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・食に関して世話になっている地域の人々と, あたご祭や給食感謝の会を通し交流を図った。(色小) ・「給食週間」には, 様々な企画を実施し, 食への意欲を高めた。世話になっている人々にお礼の手紙を書いたり, プレゼントしたりするなどの「感謝の会」を催すことができた。(清小) ・給食主任が, 「給食だより」とは別に, 定期的に「食育だより」を発行し, 食についての情報提供, 食の充実等について啓発を行った。(清小) ・給食時にグループで準備したり, 一緒に食事をするのがよき人間関係づくりの一つになっており, 今後も継続していく必要がある。(色中) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	7 学校体育, 保健・安全教育, 食育指導の充実
具体的施策	(3) 健康で安全な生活を送るための保健・安全指導の充実
主要事業	① 発達段階に応じた保健・安全指導の工夫
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・6学年「薬物乱用防止」, 2年「歯の健康」, 5年「心と体の健康・思いやり」等の出前講座の実施。(色小) ・児童・教職員の健康保持増進に関する学校保健給食委員会の開催。(色小) ・健康教育全体計画に従って, 薬物乱用の危険性についての授業を実施する。(清小) ・学校保健委員会の実施(年1回)。(清小) ・学校保健委員会の年1回以上の開催。校医, 栄養士等から健康的な生活習慣の形成, う歯, 視力低下予防, 清掃の徹底, 性教育, 酒・タバコ, 薬物の害等に関する指導を行う。(色中) 	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・学校保健委員会は年1回開催できたが, その他の「出前講座」は実施できなかった。(色小) ・健康教育全体計画に従って, 薬物乱用の危険性についての授業を実施することができた(6年生で2回実施。1回は加美警察署より来校。2回目は, 担任が学習参観日に実施)。(清小) ・学校保健委員会を実施(年1回)した。また, 学校給食委員会を実施(年1回)した。(清小) ・加美警察署員による, 「薬物乱用防止教室」や学校保健委員会での校医からの助言を参考に健康的な生活に必要な事項を実践する習慣を確立するよう支援した。(色中) 	

教育の重点	7 学校体育, 保健・安全教育, 食育指導の充実
具体的施策	(3) 健康で安全な生活を送るための保健・安全指導の充実
主要事業	② 家庭や地域と連携した交通安全及び不審者対策の指導の徹底
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・毎月10・20・30日に教職員が街頭指導を行い, 5・15・25日にはPTAであいさつ運動を行う。地区子供会でも, 地区内の危険個所で街頭指導を行う。(色小) ・毎月1・15日に校門等にて教職員が街頭指導を実施し, ウォーキングパトロール隊にも協力を依頼する。(清小) ・春と秋の交通安全運動期間中の登校時間帯に街頭指導を実施する。(色中) 	
達成度の評価	⑤ 大変満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・1年間を通じ, 教職員, 保護者がそれぞれ街頭指導やあいさつ運動を行った。また, PTA安全部で朝と下校時に街頭指導をしたり有線放送により安全への呼びかけを行った。(色小) ・毎月1・15日に校門等にて教職員が街頭指導を実施した。また, 毎週水曜日の朝には「あいさつ運動」を実施。各地区から割り当てに従い, 保護者や地域の人々に来校してもらい, 児童昇降口であいさつへの呼び掛けを行った。また, 来校しながら, 地区や通学路の道路の点検や安全の状況, 児童の様子等について確認し, 学校に報告してもらった。(清小) ・春・秋の交通安全旬間での街頭指導や集会時の交通安全及び不審者への対応に関する講話を行った。(色中) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	7 学校体育, 保健・安全教育, 食育指導の充実
具体的施策	(3) 健康で安全な生活を送るための保健・安全指導の充実
主要事業	③ 心身の健康や安全に関する自己管理能力の育成
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・4・8・1月の年3回, 身体計測を実施。健康相談は必要に応じて随時行う。(色小) ・春と秋に交通安全教室を実施。雨天時は, 交通安全に関する視聴覚教材を視聴する。(色小) ・4・9・1月の年3回身体計測を実施。健康相談は日常的に呼びかけ随時行う。(清小) ・4月早期に実施→低学年: 校地内で安全な歩行の仕方, 中学年以上: 正しい自転車の乗り方。秋も, 安全な歩行や校地外での自転車の乗り方等について確認する。(清小) ・定期健康診断, 身体計測を実施し, 必要に応じて養護教諭を中心に個別指導を行う。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・計画に基づいて, 年3回の身体計測や, 春と秋の交通安全教室を実施し, 安全指導の充実を図ることができた。(色小) ・4・9・1月の年3回身体計測を実施。健康相談は日常的に呼び掛け, 随時行うことができた。(清小) ・4月早期に実施→低学年: 校地内で安全な歩行の仕方, 中学年以上: 正しい自転車の乗り方。秋も, 安全な歩行や校地外での自転車の乗り方等について確認することができた。加美警察署員, 清水駐在所長, 町の交通指導隊, その他, 関係者にも来校してもらい, 指導を充実させることができた。(清小) ・定期健康診断, 身体計測の結果を保護者に通知するにとどまらず, 肥満や疾病等について生徒への指導を行い, 自己管理能力育成に努めた。(色中) 	

教育の重点	7 学校体育, 保健・安全教育, 食育指導の充実
具体的施策	(3) 健康で安全な生活を送るための保健・安全指導の充実
主要事業	④ 各教科, 道徳, 特別活動との関連を図った性に関する指導の工夫
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・5学年の合宿行事を前にした性に関する指導や, 校医による出前講座の実施。(色小) ・町の保健福祉センターや学校医, 保護者や外部講師を活用し, 性教育の指導の充実を図る。(清小) ・各教科, 道徳, 特別活動における性に関する教育の学習内容を分析する。また, その内容を整理し, 学習材として活用できるよう再構築を図り, 指導計画に位置づける。(色中) 	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・泊を伴う行事の事前指導を活用し性に関する指導を行ったが, 校医による出前講座は実施できなかった。(色小) ・5学年の合宿行事を前にした性に関する指導や, 校医による出前講座の実施を行うことができた。(清小) ・町の保健福祉センターや学校医, 保護者や外部講師を活用し, 性教育の指導の充実を図ることもできた。(清小) ・本来は, 性に関する指導を, 全教科・領域を通して指導しなければならないが, 現段階では, 保体が主となっている状況である。早急に, 系統的な計画を学校教育計画に位置付け, 指導にあたらなければならない。(色中) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	7 学校体育, 保健・安全教育, 食育指導の充実
具体的施策	(3) 健康で安全な生活を送るための保健・安全指導の充実
主要事業	⑤ 発達段階に応じた放射線やその影響に関する適切な指導の工夫
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・生活科や理科などの時間に, 視聴覚教材や出前授業等により, 放射線の作用と人体への影響などについて適切な指導を行う。(色小) ・より専門的な見地から分かりやすく放射線についての理解を深める出前授業を実施する。(清小) 	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・放射線に関する冊子を配布する際に指導を行ったが, さらに計画的に適切な指導を行う必要がある。(色小) ・より専門的な見地から, 分かりやすく放射線についての理解を深めるため, 出前授業を計画している段階である。(清小) ・養護教諭が中心となり, 放射線に関する掲示物や線量の数値を提示し, 放射線に対する知識を深めるよう努力した。(色中) 	

教育の重点	8 一人一人の発達段階や特性を考慮した特別支援教育の推進
具体的施策	(1) 発達段階や特性を考慮した特別支援教育の推進
主要事業	① 校内(特別)支援教育委員会及び就学指導委員会の活動の充実
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・「あたごの子」支援委員会を年数回, 特別支援教育全体会を年4回実施する。個別の指導計画を作成し, 課題を明確にした個に応じた指導を推進し, 校内研究で実践授業を公開する。(色小) ・特別支援教育コーディネーターを置き, 事業を推進する。ことばの発達の遅れや発音異常がある児童を対象に, ことばの教室を開設する。知的障害及び自閉・情緒障害学級を各1クラスずつ設置し指導にあたる。また, 通常学級の担任の相談にのったり児童の実態把握に努め, 援助の必要な児童の指導にあたる。(色小) ・個別の指導計画や支援計画を十分に活用して, 全職員で検討して指導・支援にあたる。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・支援委員会で支援や指導が必要な児童を抽出し, 担任や学年部で指導・支援計画をもとに行っている。また, 知的, 情緒学級は実態に応じて指導にあたっている。ことばの教室でも個に応じた指導を行っている。(色小) ・特別支援委員会を, 「生徒指導研修会」と密接に関連させながら(しかし, それぞれのねらいに応じて)年数回実施した。(清小) ・教員の外部研修を積極的に行った他, 伝達講習を兼ねて「心理検査の実際」「発達障害をもつ児童への対応」等々, 実技研修を計画・実施することができた。(清小) ・特別支援コーディネーターを中心とした特別支援教育についての全教職員の共通理解や研修を推進することができた。(清小) ・拓桃支援学校, 古川支援学校, 大崎市民病院(小児科), 児童相談所等々, 関係諸機関との連携を深めながら, 研修会を充実させることができた。そのことから, よりきめ細かく児童の支援にあたることができた。また, 幼稚園児にも対象を広げ, 一人一人の的確かつ適切な理解と援助につなげようとしているところである。(清小・清幼) ・特別支援教育コーディネーターを中心に, 校内支援委員会や就学指導委員会の充実した活動が行われた。定例の職員会議でも情報交換を密にし, 生徒への支援にあたることができた。(色中) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	8 一人一人の発達段階や特性を考慮した特別支援教育の推進
具体的施策	(1) 発達段階や特性を考慮した特別支援教育の推進
主要事業	② 特別支援コーディネーターを中心とした関係機関との連携による校内研修及び支援体制の充実
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターを中心とした特別支援教育についての全教職員の共通理解や研修を推進する。(色小) ・学習支援室システムのノウハウを通常学級の児童の指導や支援に生かす。(清小) ・障害に応じた教材開発を行い、日常的に活用できる環境を整備する。(清小) ・学習支援室の機能を有効に活用し、通常学級の中で対象となる生徒へ細やかな支援を行う。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援コーディネーターを中心に関係機関と連携と支援体制の充実に努めている。(色小) ・特別支援コーディネーターを中心とした特別支援教育についての全教職員の共通理解や研修を推進することができた。(清小) ・学習支援室システムのノウハウを通常学級の児童の指導や支援に生かすことができた。(清小) ・拓桃支援学校, 古川支援学校, 大崎市民病院(小児科), 児童相談所等々, 関係諸機関との連携を深めながら, 児童の支援にあたることができた。また, 幼稚園児にも対象を広げ, 一人一人の的確かつ適切な理解と援助につなげようとしているところである。(清小・清幼) ・特に配慮を要する生徒への支援について, 学習支援室の機能を有効に活用し, きめ細やかな指導にあたることができた。また, 支援校の協力を得ながら指導・支援のあり方や検査について研修するとともに, ケース会議を行うことができた。(色中) 	

教育の重点	8 一人一人の発達段階や特性を考慮した特別支援教育の推進
具体的施策	(1) 発達段階や特性を考慮した特別支援教育の推進
主要事業	③ 特別支援教育計画及び個別の支援計画の作成と積極的な活用
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・「あたごの子」支援委員会を, 年数回実施特別支援教育全体会を年4回実施する校内研究での実践授業の公開。(色小) ・特別支援教育に関する情報や特に配慮を要する生徒への支援について定期的に協議する。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・あたごの子支援委員会で作成した支援計画を基に, 担任や学年部等で指導にあたっている。(色小) ・特別支援委員会を, 「生徒指導研修会」と密接に関連させながら(しかし, それぞれのねらいに応じて)年数回実施した。(清小) ・教員の外部研修を積極的に行った他, 伝達講習を兼ねて「心理検査の実際」「発達障害をもつ児童への対応」等々, 実技研修を計画・実施することができた。(清小) ・職員間の共通理解を図りながら, 個別の指導計画を作成, 支援にあたった。通常学級に在籍する特に配慮を要する生徒の個別の指導計画も整備することができた。(色中) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	8 一人一人の発達段階や特性を考慮した特別支援教育の推進
具体的施策	(1) 発達段階や特性を考慮した特別支援教育の推進
主要事業	④ 交流学习推進のための協力体制の確立と適切な進路指導
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・交流学习の計画を立て、学級・学年・全校の児童との交流を進める。ノーマライゼーションやインクルージョンを推進する。(色小) ・特別支援コーディネーターを中心に、校内体制づくりを充実させ、全職員が、研修を積み上げながら特別支援教育の充実を図る。(清小) ・該当生徒のレディネスを把握し、なるべく多くの教科・領域の学習を通常学級で行う。また、3ヶ年を見通した進路指導にあたる。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・日常の交流学习を大切に、学校行事やたてわり活動など、それぞれの機会も活用し交流をを深めている。(色小) ・特別支援コーディネーターを中心に、校内体制づくりを充実させ、全職員が、研修を積み上げながら特別支援教育の充実を図ることができた。(清小) ・拓桃支援学校、古川支援学校から教員を招き、実技や理論研修を行ったり、課題をもつ児童の検査を実施してもらうなど、交流を充実させることができた。専門的な知識をもとに保護者への説明を行ってもらったことで、逆に学校への信頼が増すことにつながった。(清小) ・特別支援学級に在籍する生徒と協力学級との生徒間の人間関係が築かれており、生徒が安心して生活できる環境にある。保護者が希望する進路と本人の希望、学校の願いにズレがあり、来年の進路決定の際には、第三者からの意見が必要になる可能性もある。(色中) 	

教育の重点	9 情報活用能力の育成と情報モラルを培う情報教育の推進
具体的施策	(1) 情報社会に適応できる情報教育の推進
主要事業	① 情報教育推進のための校内体制及び周辺機器の整備・充実
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・教材・機器の紹介や操作方法の説明を現職教育部と合同で実施する。保管場所の整理整頓に努め使いやすい配置の工夫をする。(色小) ・各教科や「総合的な学習」の時間の年間指導計画を新学習指導要領に沿って情報教育の視点で修正する。(清小) ・担任や情報主任が中心となって、学校支援ボランティアなどを積極的に活用し、情報モラルやリテラシーの育成を図る。(清小) ・生徒、職員にとって使いやすい教室、周辺機器となるよう整備に努める。また、アップデート等を行うことで常に機器が最良の状態で使用できるように保つ。(色中) 	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・情報主任が中心となって校内体制を整え情報教育推進を図っている。また、保管場所の整理整頓も定期的に行っている。(色小) ・各教科や「総合的な学習」の時間の年間指導計画を新学習指導要領に沿って情報教育の視点で修正することができた。(清小) ・担任や情報主任が中心となって、情報モラルやリテラシーの育成を図るように努めた。(清小) ・周辺機器のメンテナンス等については確実に整備された状態である。ただ、担当者のみがその任にあたり、組織は確立されていない。今後は、情報PCプロジェクトチームを立ち上げ、コーディネートするよう組織を改編する。(色中) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	9 情報活用能力の育成と情報モラル等を培う情報教育の推進
具体的施策	(1) 情報社会に適応できる情報教育の推進
主要事業	② 各教科等の学習における情報活用能力の育成
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータリテラシー指導の実施。(色小) ・中学校の技術家庭科担当と高学年との連携を図る。(清小) ・技術科での情報分野の学習をもとに、各教科でもPCを活用し、ICT能力を高めさせる。(色中) 	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間や教科の調べ学習時に、各学年が計画的に指導にあたった。(色小) ・積極的にパソコンを活用して授業に取り入れるように、呼び掛けを行った。(清小) ・技術の授業を通して、PC活用の基礎を身に付けさせることができた。ただ、生徒個々の能力に応じて、より高度な技能を習得させるための工夫を検討しなければならない。(色中) 	

教育の重点	9 情報活用能力の育成と情報モラル等を培う情報教育の推進
具体的施策	(1) 情報社会に適応できる情報教育の推進
主要事業	③ デジタルコンテンツの活用に向けた環境整備とデータベース化の工夫
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・学年ごとにフォルダを作成し、データベース化を図る。(色小) ・成績処理、通信票等の作成においては、ホストPCで情報を一括管理する等データベース化を図り、事務に関する時間、職員の負担の軽減を図る。(色中) 	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの閲覧等を行っているが、データベース化には至っていない。(色小) ・PCでの情報の一括管理及びネットワーク化により、職員間の業務が協業化され、事務の軽減を図ることができている。(色中) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	9 情報活用能力の育成と情報モラル等を培う情報教育の推進
具体的施策	(1) 情報社会に適応できる情報教育の推進
主要事業	④ ネットワーク環境の整備とセキュリティーの確保
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・新たに設置されたパソコンや電子黒板等の使用と活用についての校内研修を計画的に実施し、職員一人一人がより効率的に機材を使いこなせるようにする。(色小・清小・色中) ・情報研修会を実施し、教職員の共通理解を図るとともに、年間指導計画と照らし合わせて、必要なソフトのリストアップを行う。(清小) ・情報モラル教育充実のために有効なサイト等をリストアップし活用する。(清小) ・生徒情報の持ち出しや不正なダウンロード等を禁じた規程を作成し、事故防止に努める。(色中) 	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板は主に英語活動の時間に活用している。パソコンやその他の機材の有効な使用方法については今後も研修を重ねる必要がある。(色小) ・新たに設置されたパソコンや電子黒板等の使用と活用についての校内研修を計画的に実施し、職員一人一人がより効率的に機材を使うことができるようになってきた。(清小) ・情報研修会を実施し、教職員の共通理解を図るとともに、年間指導計画と照らし合わせて、必要なソフトのリストアップを行うことができた。(清小) ・今後も個人情報の管理等について、細心の注意を払っていく。(色中) 	

教育の重点	9 情報活用能力の育成と情報モラル等を培う情報教育の推進
具体的施策	(1) 情報社会に適応できる情報教育の推進
主要事業	⑤ 情報モラルやネット利用マナーの指導徹底
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・学級担任や情報主任が中心となり、メールやネット利用に関する指導を発達段階に応じて行う。(色小) ・「生活のきまり」の内容を全職員で周知し、「情報モラル」の指導の充実を図る。(清小) ・ICTやモラルに関する規程を教育計画に位置づける。(色中) 	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間や教科の調べ学習時に、各学年が実態に応じて指導にあたっている。(色小) ・「生活のきまり」の内容を全職員で周知し、「情報モラル」の指導の充実を図ることができた。(清小) ・情報教育計画に基づき、技術の授業を中心に指導にあたった。今後は、学級活動や総合的な学習の時間等での取り扱いについても指導にあたるよう努力する。(色中) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	10 各教科, 道徳, 特別活動の時間との関連を図った指導計画の作成
具体的施策	(1) 世界の中の日本についての認識と国際理解教育の推進
主要事業	① 日本並びに地域の伝統や文化に対する関心や理解を高める指導の推進
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統的文化を教材に取り入れる。各教科, 道徳, 特別活動, 外国語活動, 総合的な学習の時間などの全教育活動を通して実施。(色小) ・総合的な学習の時間や外国語活動では, ALTとの交流を通して体験的な活動に取り組む。(清小) ・国際理解のためには, まず自国理解が不可欠であることを認識させる。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・各教科, 道徳, 特別活動, 外国語活動, 総合的な学習の時間など年間指導計画に基づいて指導を行っている。(色小) ・日本の伝統的文化を, 各教科, 道徳, 特別活動, 外国語活動, 総合的な学習の時間など, 全教育活動を通して理解したり, 味わったりすることができるように配慮してきた。(清小) ・総合的な学習の時間や外国語活動では, ALTとの交流を通して, 体験的な活動に取り組むことで, 「日本の伝統的な文化」にも目を向けられるようにした。(清小) ・英語や社会科の授業を中心に, 外国に目を向け, 視野を広げるよう指導した。今後は, 自国の文化と他国の文化を比較しながら, 他国との違いについて理解し, 共生社会をつくる意識をより高めなければならない。(色中) 	

教育の重点	10 各教科, 道徳, 特別活動等の時間との関連を図った指導計画の作成
具体的施策	(1) 世界の中の日本についての認識と国際理解教育の推進
主要事業	② 外国語指導助手及び外国人との積極的な交流による異文化理解教育の推進
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・5～6年生は外国語活動として年間35時間ALTと活動, 1～4年生は年間6時間の英語活動を実施。(色小) ・国際理解コーナーを設け, 異文化に関心をもてる掲示をする。(色小) ・3・4年生は「総合的な学習」の時間として10時間程度, 5・6年生は「外国語活動」として35時間。(清小) ・各教科との関連を意識して, すべての教科で国際理解教育の視点を意識した実践を行う。(清小) ・国際理解のための廊下掲示を工夫する。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・ALTとの外国語活動は毎週火曜日に5, 6年生で実施した。また, 1から4年生までの英語活動はそれぞれ担任が教員補助員の協力を得て取り組むことができた。(色小) ・1～4年生は, 「創意の時間」の設定で, 年間10時間, 国際交流を行った。5・6年生は「外国語活動」として, 年間35時間を, ALTと担任による授業を実施することができた。外国語活動担当が, 各時間の指導計画や教材を準備し, 担任と打ち合わせをしてから毎回の授業に臨むようにしてきたことから, 活動内容が充実してきた。(清小) ・各教科との関連を意識して, すべての教科で国際理解教育の視点を意識した実践を行うようにしてきた。(清小) ・ALTを活用し, 言語のみではなく異国文化に触れることで広い視野をもつ人間形成の一助とした。また, 国際理解に関する廊下掲示等を工夫したが, さらに改善を加えていきたい。(色中) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	10 各教科, 道徳, 特別活動等の時間との関連を図った指導計画の作成
具体的施策	(2) 環境への理解を深め, よりよい環境の在り方について考える姿勢の育成
主要事業	① 地域の自然や環境に関する体験活動を通じた環境保全の意識と環境モラルの育成
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・町農林課や公民館との共催事業による「花いっぱい運動」や学校支援ボランティア等との協力。(色小) ・緑化委員会が花壇やプランターで草花の栽培を実施。また, 学習田で5年生は学習田で稲を栽培。菜園では各学年が, サツマイモ, エダマメ, エゴマ, ダイズ等の栽培を実施。(色小) ・町農林課や公民館との共催事業による「花いっぱい運動」や学校支援ボランティア等との植栽活動や環境整備, 各学級の花壇や学校園などの植栽活動を通して児童の主体的な活動を促し, 勤労生産の喜びを体感させる。(清小) ・町の「花いっぱい運動」との連携による花壇の整備を実施する。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・町農林課や公民館の支援のもとイワナ稚魚放流を1年生が, 春と秋の植栽活動を3・4年生が行っている。(色小) ・学習田を活用して, 5年生が稲作体験活動を実施した。学習畑では, 3年生がエゴマを植栽した。さらに, 各学年が, それぞれの計画に従い, サツマイモ, エダマメ, ミントマト等の栽培を実施した。苗植えから除草, 水遣り等の作業を継続し, 収穫の喜びを味わうことができた。(清小) ・町農林課や公民館との共催事業による「花いっぱい運動」や学校支援ボランティア等との植栽活動や環境整備, 各学級の花壇や学校園などの植栽活動を通して, 児童の主体的な活動を促し, 勤労生産の喜びを体感させることができた。(清小) ・新校舎建設に伴う花壇の撤去により, 花いっぱい運動を実施することができなかった。その反面, 技術科での栽培等の体験活動を重視するとともに, ゴミの分別等から環境問題について考えさせることができた。また, 環境教育主任による諸掲示物にも工夫が見られた。今後も継続していく。(色中) 	

教育の重点	10 各教科, 道徳, 特別活動等の時間との関連を図った指導計画の作成
具体的施策	(2) 環境への理解を深め, よりよい環境の在り方について考える姿勢の育成
主要事業	② 各教科, 道徳, 特別活動との関連を図った環境保全に向けた実践的態度の育成
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・環境との関わりについて理解し, 環境と調和していくことの大切さを考える栽培活動の実践。(色小) ・除草活動なども取り混ぜる。(清小) ・日常の清掃作業に真剣に取り組ませるとともに, 学期毎の大掃除「愛校作業」を行う。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・全学年で花壇か畑での栽培活動を実施している。特に5年生は田植えから収穫まで水田の学習を通じ環境についての学習を進めている。(色小) ・「花いっぱい運動」への取り組み, 各学年の計画に対応した植物の栽培・収穫活動, 校庭や学級の畑の除草活動等, 身体を通じた活動を多く取り入れ, 実践的態度の涵養を図ることができた。(清小) ・清掃時には, 生徒・教師ともに活動にあたり, 真剣かつ丁寧に取り組む姿勢が見られ, 校舎内は常に清掃が行き届いている。学期末の大掃除(愛校作業)も同様であり, 指導を継続していく。(色中) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	10 各教科, 道徳, 特別活動等の時間との関連を図った指導計画の作成
具体的施策	(3) 人間尊重・福祉の心を大切にしたい人権・福祉教育の推進
主要事業	① 互いに認め合い, とともに生きる心を育てる人権・福祉教育の推進
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・「相手を尊重し, 人と気持ちよく接する子」「人にやさしく親切にする子」「男女協力し, 仲良く励まし合う子」を望ましい児童像に掲げ指導する。(色小) ・人権教育の全体計画をもとにして, 学年ごとの年間指導指導計画を作成し, 実践していく。(清小) ・スクールプランの柱の一つに位置づけ, ボランティア活動を通して思いやりの心を醸成する。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・人権・福祉教育計画に基づいて, 担任や学年部で指導にあたっている。(色小) ・人権教育の全体計画をもとにして, 学年ごとの年間指導指導計画を作成し, 実践することができた。(清小) ・様々な場面で学年の枠を超えた交流ができるように計画してきた結果, たてわり活動が大変充実してきた。互いを尊重し, 助け合う雰囲気全校的に定着してきている。(清小) ・計画どおり, ボランティア活動を企画し, ほぼ100%の生徒の参加があり, 思いやりの心が醸成されてきていると考える。また, 教師は授業のみならず教育のあらゆる機会を通して人権尊重を意識しながら指導にあたり, 教師の言葉遣い等にも十分に気を配っていく。(色中) 	

教育の重点	10 各教科, 道徳, 特別活動等の時間との関連を図った指導計画の作成
具体的施策	(3) 人間尊重・福祉の心を大切にしたい人権・福祉教育の推進
主要事業	② 福祉・ボランティア活動の奨励と実践化に向けた啓発の推進
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・募金活動, 木曜日朝のあいさつ運動, 車椅子を購入する為のアルミタブ回収運動。(色小) ・各種募金活動や花の水やり, アルミ缶・ベルマーク回収に取り組む。(色中) 	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・計画委員会や福祉委員会の計画のもと, 募金活動やあいさつ運動, プルタブの回収運動を行っている。(色小) ・毎週水曜日, 朝の「あいさつ運動」には, 各地区から多くの保護者・地域の人々に参加してもらった。また, 特に高学年児童を中心に, 子どもたちも参加し, あいさつを呼び掛けることができた。(清小) ・各種募金活動や花の水遣り等に進んで取り組むことができた。(清小) ・計画については確実に実施できた。また, 生徒会の企画により, 校舎建設にあたって作業員の人々へ激励と御礼の意を込めた横断幕を作成している。(色中) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	10 各教科, 道徳, 特別活動等の時間との関連を図った指導計画の作成
具体的施策	(3) 人間尊重・福祉の心を大切にした人権・福祉教育の推進
主要事業	③ 家庭や地域と連携した人権・福祉活動の充実
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・4年生で, キャップハンディー体験や福祉施設の見学, 福祉事業に関わる人々の話を聞く時間を設定する。(色小) ・学校支援ボランティアや世代間交流等の特色を生かした活動の充実を図る。(清小) ・地域の独居老人や老人福祉施設等の訪問と交流を通して, 福祉の実態を知り充実の在り方について考える。(清小・色中) 	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・3年生が校外学習で福祉施設を見学したり, 4年生で福祉施設の訪問し合唱を披露したりしたが, キャップハンディー体験はできなかった。(色小) ・学校支援ボランティアや世代間交流等の特色を生かした活動の充実を図ることができた。(清小) ・町社会福祉施設や幼稚園の協力を得て, 高齢者との交流活動及び保育体験を行い, 思いやりの心を育んだ。(色中) 	

教育の重点	10 各教科, 道徳, 特別活動等の時間との関連を図った指導計画の作成
具体的施策	(4) 図書の充実と活用の促進を図る図書館教育の推進
主要事業	① 図書の整備・充実と読書に対する意欲を高める指導の充実
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・図書司書や司書補を中心に企画・実践する。(色小) ・県立図書館の貸出図書を借りて各クラスを回す。(色小) ・図書委員会の活動として, 集会を活用して本の紹介や多読賞を紹介する。(色小・清小) ・図書ボランティアを活用し, いつでも貸し出しがしやすい環境を整える。(清小) ・図書委員会の活動内容を充実させる。(清小) ・ポスターなどの掲示物や校内放送で図書に関する広報活動を充実させる。(清小) ・学校支援ボランティアを活用し図書の整理をする。(色中) 	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・担当教諭や教員補助員の協力で, 図書の整備を進めることができた。また, 県立図書館の貸出図書を活用することができた。(色小) ・新しい図書購入の際には, 全職員対象に希望を取って幅広く選定することができた。(清小) ・図書委員会の活動を日常化させ, 本に親しませるような活動を実施することができた。(清小) ・「図書館だより」の発行, 「図書館まつり」の実施(図書委員会児童の活躍の場の設定), 「多読賞」表彰の実施等の試みを続けてきたために, 読書への意欲は高まってきている。また, 学級文庫の充実も図ってきた。(清小) ・蔵書量が少なく, 古い本も多い。町内外の図書館施設等からの本の貸し出しも検討していかなければならない。(清小) ・朝読書に熱心に臨む姿や図書利用の増加から, 生徒の読書への意識が高まってきていることがうかがえる。また, 町退職教職員友の会の解散により, 図書館ボランティアの協力がなくなったことは残念である。(色中) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	10 各教科, 道徳, 特別活動等の時間との関連を図った指導計画の作成
具体的施策	(4) 図書の充実と活用の促進を図る図書館教育の推進
主要事業	② 図書の積極的利用を促す指導の展開
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・図書司書や司書補助を中心に図書の充実や整理に努める。図書委員会を中心に図書の貸し出しや読み聞かせなどの啓発活動を行う。(色小) ・新しい図書購入の際には, 全職員対象に希望をとる。(清小) ・図書委員会の活動を日常化させ, 本に親しませるような活動を実施する。(清小) ・図書室の利用の仕方を指導する。(色中) ・国語科を中心に購入図書を選定する。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・担当教諭や教員補助員の協力で, 図書委員会の指導や図書室利用を促すことができた。(色小) ・新しい図書購入の際には, 全職員対象に希望を取って幅広く選定することができた。(清小) ・図書委員会の活動を日常化させ, 本に親しませるような活動を実施することができた。(清小) ・「図書館だより」の発行, 「図書館まつり」の実施(図書委員会児童の活躍の場の設定), 「多読賞」表彰の実施等の試みを続けてきたために, 読書への意欲は高まってきている。また, 学級文庫の充実も図ってきた。(清小) ・蔵書量が少なく, 古い本も多い。町内外の図書館施設等からの本の貸し出しも検討していかなければならない。(清小) ・生徒が興味・関心をもつ図書を整備するために, 購入図書を選定する際に, 生徒及び教師のアンケートや業者からの助言を受け, 購入を決定した。その結果, 図書館書籍の貸し出しが増加した。(色中) 	

教育の重点	10 各教科, 道徳, 特別活動等の時間との関連を図った指導計画の作成
具体的施策	(4) 図書の充実と活用の促進を図る図書館教育の推進
主要事業	③ 地域に開かれた図書館づくりの推進
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・読書に関する啓発と意欲付けのため, 図書室だよりの発行等に努める。(色中) 	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・図書館担当教員の負担を考え, 図書室だよりの発行までは至らなかった。今後は, 生徒会委員会活動によるだよりの発行につなげたい。(色中) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	10 各教科, 道徳, 特別活動等の時間との関連を図った指導計画の作成
具体的施策	(5) 郷土理解に基づいたふるさと教育の推進
主要事業	① 郷土や地域を理解するための体験的活動の充実
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・「総合的な学習」の時間で, 3年生は「発見, 色麻のよいところ」, 4年は「みんなにやさしいまち色麻」, 5年生は「ぼくら色麻の米作り隊」, 6年は「ふるさと色麻再発見」を実施し地域理解を深める。(色小) ・生活科では, 清水地区コミュニティーセンターの世代間交流を活用し, 郷土に伝わる遊びや料理などに取り組む。(清小) ・清水タイムでは, 自然, 文化, 生活環境, 食文化, 産業など各学年ごとに計画的に取り組む。(清小) ・神楽や太鼓など郷土に伝わる伝統芸能に親しむ。(清小) ・福祉体験学習, 職場体験学習時の, 町の人々と触れあいかから, ふるさと色麻のよさを体感させる。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・各学年, 校外学習等, 年間計画に基づいて体験活動中心に地域理解を深めることができた。6年生は公民館の協力を得て, 町内の史跡を見学した。(色小) ・生活科では, 清水地区コミュニティーセンターの世代間交流を活用し, 郷土に伝わる遊びや料理などに取り組むことができた。(清小) ・「清水タイム」では, 自然, 文化, 生活環境, 食文化, 産業など, 学年ごとに計画的に取り組むことができるようになってきた。(清小) ・神楽や太鼓など郷土に伝わる伝統芸能に親しむことができた。(清小) ・各学年の体験学習を通して, 地域のよさを体感させることができている。(色中) 	

教育の重点	10 各教科, 道徳, 特別活動等の時間との関連を図った指導計画の作成
具体的施策	(5) 郷土理解に基づいたふるさと教育の推進
主要事業	② 郷土の文化や産業に関する教科横断的学習の推進
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・町探検, 消防署見学, 色麻の米作り隊, ふるさと色麻発見, 船形山登山。(色小) ・保野川から自然の豊かさ, 田畑や農耕地から生産体験, 果樹園やファームなど産業, 神楽や太鼓・遺跡などから歴史と伝統文化 などの教材化を図る。(清小) ・色麻学部会で素材分析, 教材化した題材を用い, 郷土の文化や産業について各教科・領域で指導する。(色中) 	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・各学年, 学習支援ボランティアの協力も得て年間計画に基づいて学習することができた。今年度も6年生の登山は「菓葉山」で行った。(色小) ・保野川から自然の豊かさ, 田畑や農耕地から生産体験, 果樹園やファームなど産業, 神楽や太鼓・遺跡などから歴史と伝統文化 などの教材化を図ることができつつある。(清小) ・色麻学について, 地域素材の教材化は進められているが, まだ系統化されておらず, 教師個々が各教科でおのおの, 地域素材を扱っているのが現状である。今後対応が急がれる。(色中) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	10 各教科, 道徳, 特別活動等の時間との関連を図った指導計画の作成
具体的施策	(5) 郷土理解に基づいたふるさと教育の推進
主要事業	③ 地域素材の教材化と地域の人材活用の推進
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・学校支援ボランティアや地域施設の活用。荒川堰の教材化。(色小) ・道徳の時間で扱う地域に関する資料を作成する。(色中) 	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・学校支援ボランティアの活用や町内施設の訪問, 見学は生活科や総合的な学習の時間に行った。しかし, 荒川堰の教材化はできなかった。(色小) ・学校支援ボランティアとして, 5・6年生の家庭科で実習指導をしてもらったり, 6年生の社会科で「戦争当時はお話」を聞かせてもらったりするなど, 大変有効に活用・交流をすることができた。(清小) ・道徳の時間で扱う地域に関する資料を作成することができなかった。民謡保存会の協力により, 生徒が地域の文化を理解する有意義な機会となっており, 今後も継続していく。(色中) 	

教育の重点	11 教育課程を踏まえた創意と活力に満ちた園の経営
具体的施策	(1) 創意と活力に満ちた園の経営
主要事業	① 幼児・家庭・地域社会の実態を踏まえた創意ある教育課程の編成と実施
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の発達課題を踏まえるとともに, 関係教育機関との連携を図る。(色幼・清幼) ・保育参観及び園行事への参加によって, 幼児教育の共通理解を図る。(清幼) ・コミセンと連携し, 昔遊びなどを通して世代間交流の促進を図る。(清幼) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・年少・年長の2年保育を, 発達課題に応じて8期の過程に分けて計画的に行うとともに, 関係諸機関と連携を図りながら保育を進めることができた。(色幼) ・幼児の発達課題を踏まえるとともに, 関係教育諸機関との連携を図ることができた。(清幼) ・保育参観及び園行事への参加を積極的に実施することによって, 幼児教育の共通理解を図ることができた。(清幼) ・コミセンと連携し, 昔遊びなどを通じた世代間交流の促進を図ることができた。(清幼) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	11 教育課程を踏まえた創意と活力に満ちた園の経営
具体的施策	(1) 創意と活力に満ちた園の経営
主要事業	② 職員の協働体制の確立と実践の評価をもとにした園教育の充実・向上
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・園評価の実施, 研修の実施。(色幼) ・年長の担任が, 1年生の担任と連絡を密に取り合い, 4月中は小学校の担任と指導計画を作成する。年長の3学期についても, 1年生の担任と連絡を取り合い, 小学校教諭とともに年長の保育計画を作成する。(清幼) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の職員会議では担当者を中心に評価と反省を行い, 次の実践に役立てている。(色幼) ・職員による自己評価に加え, 「保護者による園評価」を実施し, 結果を分析。さらに「父母の会総会」等で, 結果を公表することができた。(清幼) ・年長の担任が, 1年生の担任と連絡を密に取り合い, 4月中は小学校の担任と指導計画を作成する。年長の3学期についても, 1年生の担任と連絡を取り合い, 小学校教諭とともに交流の計画を作成することができた。(清幼) 	

教育の重点	11 教育課程を踏まえた創意と活力に満ちた園の経営
具体的施策	(1) 創意と活力に満ちた園の経営
主要事業	③ 地域に開かれた信頼される園経営の実践
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・園だより, 父母の会だよりの発行。行事へ区長, 民生児童委員, 関係機関, 地域の人々の招待。(色幼) ・幼児の発達課題を踏まえ, 関係教育機関との連携を図る。(清幼) ・保育参観及び園行事への積極的な参加を呼びかけ, 幼児教育の共通理解を図る。(清幼) ・コミセンと連携をとり, 昔遊びなどを通して世代間交流の促進を図る。(清幼) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・園だよりを通し園の方針や園児の様子を発信し理解を得ることができた。また, 儀式やおゆうぎ会など地域の人々が来園する機会もあり協力してもらった。(色幼) ・幼児の発達課題を踏まえ, 関係教育諸機関との連携を図ることができた。(清幼) ・保育参観及び園行事への積極的な参加を呼びかけることで, 幼児教育に関して共通理解を図ることができた。(清幼) ・コミセンと連携を取り, 昔遊びなどを通して世代間交流の促進を図ることができた。大変充実した活動を展開することができた。(清幼) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	12 幼児の発達の特徴を踏まえた特色ある教育課程の編成と実施・改善
具体的施策	(1) 特色ある教育課程の編成と実施・改善
主要事業	① 適切な環境の構成と計画的な評価・改善
具体的取組計画等 ・園経営の評価計画を立案し、園研究とも合わせてPDCAのサイクルを確立する。(色幼・清幼)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・保護者による「園生活についてのアンケート」を実施し分析するとともに、教育課程の自己評価を行い、よりよい環境構成を整えるよう改善に努めている。(色幼) ・園経営の評価計画を立案し、園研究とも合わせてPDCAのサイクルを確立することができるようになってきている。(清幼)	

教育の重点	12 幼児の発達の特徴を踏まえた特色ある教育課程の編成と実施・改善
具体的施策	(1) 特色ある教育課程の編成と実施・改善
主要事業	② 具体的なねらいや内容を明確にした指導計画の作成
具体的取組計画等 ・教育目標の達成を目指し、各年齢を5期に分け指導計画を作成している。(清幼)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・教育目標の達成を目指し、各年齢を5期に分けて指導計画を作成し、活用することができた。(清幼)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	12 幼児の発達の特性を踏まえた特色ある教育課程の編成と実施・改善
具体的施策	(1) 特色ある教育課程の編成と実施・改善
主要事業	③ 必要性和教育的価値に裏付けられた行事の設定
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・畑での栽培活動、公民館とタイアップした行事の企画、親子レクリエーション、親子体育遊びを実施する。(色幼) ・昔話をテーマにした運動会や、発表会でそれぞれの発達に応じた行事の計画をする。(清幼) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の協力や父母の会の役員の支援を得たり、公民館等の協力を得て、充実した楽しい行事を行うことができた。(色幼) ・畑での栽培活動、公民館とタイアップした行事の企画、親子レクリエーションの充実、親子体育遊びやキッズサッカーの実施、凧作り等のふれあいを重視した活動等、教育的価値を最大限に考慮しながら、行事を設定することができた。(清幼) ・テーマ性をもたせた運動会や、創作劇への取り組みによる発表会等を通して、それぞれの発達に応じた行事の計画を行うことができた。(清幼) 	

教育の重点	12 幼児の発達の特性を踏まえた特色ある教育課程の編成と実施・改善
具体的施策	(1) 特色ある教育課程の編成と実施・改善
主要事業	④ 幼児の思いと教師の意図の融合の推進
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭訪問や保育所からの聞き取り、個々に合わせた指導の実施。(色幼) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭訪問の機会や保育のノートの活用を通じた日常の情報交換を大切にして、個々に合わせた指導を行うように努めている。(色幼) ・家庭訪問や参観時の教育相談を通して、家庭の願いを受け止めることができた。また、保育所からの聞き取りを行ったり、連絡帳を活用したりしながら、個々に合わせた援助を行うことができた。(清幼) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	13 個々の特性に応じた指導の充実
具体的施策	(1) 個々の特性に応じた指導の充実
主要事業	① 生きる力の基盤形成のための個に応じた指導の充実
具体的取組計画等 ・生活習慣のアンケートを実施し、個々の必要に応じた指導を行う。(色幼)	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 ・生活習慣のアンケートは実施できなかったが、適宜、保護者と連絡を取り合い個に対応した指導を行っている。(色幼) ・きめ細かい観察を通して情報交換を密にすることで、個に応じたきめ細かな援助を継続することができた。(清幼) ・教員補助員の存在が大きく、特に手の掛かる園児に対しても、スモールステップを踏んだ援助を行うことができた。(清幼)	

教育の重点	13 個々の特性に応じた指導の充実
具体的施策	(1) 個々の特性に応じた指導の充実
主要事業	② 幼児期にふさわしい思考・態度・生活の基礎に関する学びの充実
具体的取組計画等 ・行事等で、年少・年長の交流を持ちながら、成長に応じた保育活動を実施する。(色幼) ・幼・小のつなぎの学年の担任で協力しながら、幼児期にふさわしい思考・態度・生活の基礎に関する指導計画を策定する。(清幼)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・年少と年長の交流は多くの行事で行うことができた。また、幼保、幼小、幼保小の交流も計画的に行うことができた。(色幼) ・行事等で、年少・年長の交流を持ちながら、成長に応じた保育活動を実施することができた。(清幼) ・幼・小のつなぎの学年の担任で協力しながら、幼児期にふさわしい思考・態度・生活の基礎に関する指導計画を策定することができた。併設のよさを十分に活用することができた。(清小・清幼)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	13 個々の特性に応じた指導の充実
具体的施策	(1) 個々の特性に応じた指導の充実
主要事業	③ 個々の主体的な活動の促進と豊かな体験のための指導の推進
具体的取組計画等 ・プール, カップ山でのそり滑り, りんご園, 栗拾い, しゃくやく見学。(色幼)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・栗拾いは雨天のため実施できなかったが, その他は天気にも恵まれ楽しく豊かな自然との触れあい体験を行うことができた。(色幼) ・なし狩り(北浦), りんご狩り(加美農), しゃくやく遠足(色麻・愛宕山), 雪の遠足(薬菜山), 交通安全教室, コミセンの人々とのふれあい, キッズサッカーや凧づくり等, 様々な活動に加え, 町内の園研究による「園児の関わり方」の指導を関連させながら, 豊かな体験活動を展開することができた。(清幼)	

教育の重点	13 個々の特性に応じた指導の充実
具体的施策	(1) 個々の特性に応じた指導の充実
主要事業	④ チーム保育の指導体制や活動形態の工夫
具体的取組計画等 ・互いに補い合い, 全員で指導に当たる。(色幼) ・年少・年長の合同保育を計画的に実施し, 異年齢とのかかわりを体験させる。(清幼) ・常に職員の連携を大切にして, 保育内容を充実させる。(清幼)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・教諭2名, 講師2名の4名体制で, それぞれの特徴を生かし役割分担ができて, チームで指導する体制が整っている。(色幼) ・年少・年長の合同保育を計画的に実施し, 異年齢とのかかわりを体験させることができた。(清幼) ・常に職員の連携を大切にして, 保育内容を充実させることができた。(清幼) ・2名の担任に加え, 町から派遣された1名の教員補助で協力体制を充実させることができた。また, 併設の小学校との連携が密に図られ, 様々な指導体制・活動形態の工夫を行うことができた。(清幼)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	13 個々の特性に応じた指導の充実
具体的施策	(1) 個々の特性に応じた指導の充実
主要事業	⑤ 幼児期の道徳性の芽生えを培う体験の積み重ねと適切な援助
具体的取組計画等 ・栗拾い, りんご狩り, 動物との触れ合い, しゃくやく園見学, 交通安全教室, 園研究による「園児の関わり方」の指導。(色幼)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・保護者や関係諸機関の協力のもと, 概ね充実した体験活動が行えており, 道徳性の萌芽に役立っている。(色幼) ・なし狩り(北浦), りんご狩り(加美農), しゃくやく遠足(色麻・愛宕山), 雪の遠足(薬菜山), 交通安全教室, コミセンの方々との触れあい, キッズサッカーや凧づくり等々, 様々な活動に加え, 町内の園研究による「園児の関わり方」の指導を関連させながら, 豊かな体験活動を展開することができた。(清幼)	

教育の重点	14 発達段階を踏まえた幼・保・小の連携による学びの土台づくり
具体的施策	(1) 発達段階を踏まえた幼・保・小の連携
主要事業	① 学びの連続性を踏まえた教育課程の工夫・改善と教師間の交流・連携の推進
具体的取組計画等 ・できるようになったよ発表会の見学, 学芸会の見学, 小学校の生活の見学。収穫祭。(色幼) ・年長の担任が, 1年生の担任と連絡を密に取り合い, 新学期4月中は, 小学校の担任と指導計画を作成する。(清幼) ・年長の3学期についても, 1年生の担任と連絡を取り合い, 小学校教諭とともに年長の保育計画を作成する。(清幼)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・幼保小連携推進事業の公開等もあり, 例年以上に幼幼, 幼保, 幼小, 幼保小の交流の場が設定されとても充実した連携となった。(色幼) ・年長の担任が, 1年生の担任と連絡を密に取り合い, 新学期4月中は, 小学校の担任と指導計画を作成することができた。(清小・清幼) ・年長の3学期についても, 小学校1年生の担任と連絡を取り合い, 交流に向けた計画を作成・実施することができた。(清小・清幼)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	14 発達段階を踏まえた幼・保・小の連携による学びの土台づくり
具体的施策	(1) 発達段階を踏まえた幼・保・小の連携
主要事業	② 幼・保・小の指導のねらいの明確化と遊びを通じた他の人々との交流活動の充実
具体的取組計画等 ・保育所との交流会, 小学校児童の幼稚園への訪問活動。(色幼) ・日常的に, 散歩や行事など, 交流活動を取り入れる。(清幼)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・お祭りやお楽しみ会など, 例年以上に保育所や小学校との交流の場が設定されとても充実した活動を行うことができた。(色幼) ・保育所との交流会, 小学校児童の幼稚園への訪問活動。(色幼) ・①保育所との交流会を, 定期的に行うことができた。(清幼) ・②小学校児童との交流が積極的に行われ, 幼・小併設の利点を最大限に活用することができている。(清幼) 具体的な交流活動としては, i 小学校1年生の授業参観(国語科, 算数科) ii 小学校2年生の授業での交流会(生活科「おもちゃまつり」) iii 小学校5年生との交流会(総合的な学習の時間:ふれあい) iv 小学校低学年児童との合同やきいも大会 v 小学校高学年:保健委員会児童による「歯みがき励行の呼び掛け」	

教育の重点	15 家庭や地域・関係機関との緊密な連携による基本的な生活習慣の確立
具体的施策	(1) 家庭や地域・関係機関との緊密な連携
主要事業	① 保護者や家庭との密接な連携による基本的な生活習慣の育成や規範意識の醸成
具体的取組計画等 ・園だより, 父母の会だよりの発行。(色幼) ・園だよりの発行。(清幼)	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 ・園だよりやお知らせ, 保育ノートの活用を通じて家庭と適切な連携を図ることができた。(色幼) ・「園だより」を定期的に発行することができた。(清幼) ・父母の会による「ミニ作文集」を, 年に3回発行することができた。(清幼)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	15 家庭や地域・関係機関との緊密な連携による基本的な生活習慣の確立
具体的施策	(1) 家庭や地域・関係機関との緊密な連携
主要事業	② 家庭や専門諸機関との緊密な連携による個に配慮した適切な指導と支援の充実
具体的取組計画等 ・要保護児童連絡会, 教育相談, 事務所へのカウンセラー訪問日の活用。(色幼)	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 ・家庭や関係諸機関と連携を図り相談活動を行い, 適切な支援体制づくりに努めた。(色幼)	

教育の重点	15 家庭や地域・関係機関との緊密な連携による基本的な生活習慣の確立
具体的施策	(1) 家庭や地域・関係機関との緊密な連携
主要事業	③ 関係機関との緊密な連携による幼児の安全最優先の危機管理体制の確立
具体的取組計画等 ・緊急時のバス利用者連絡簿の作成, 家庭状況調査で勤務先や連絡先の把握。(色幼) ・園児の様子や家庭環境について, 町の関係機関と連絡を取り合い, 連携を図る。(清幼)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・連絡簿を作成し緊急時に備えた。エンジントラブルで朝の迎えのバスが遅れたことがあったが, 迅速に連絡をとることができた。(色幼) ・園児の様子や家庭環境について, 町の関係機関と連絡を取り合い, 連携を図ることができた。(清幼)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	16 子育て支援と預かり保育の充実
具体的施策	(1) 子育て支援と預かり保育の充実
主要事業	① 家庭や地域の子育て支援等地域の幼児教育センターとしての役割の充実
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育の実施。(色幼) ・預かり保育や放課後学習教室の担当者と常に連携を図る。(清幼) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・対象児童は増えたが、2人体制で指導にあたっており適切な預かり保育が実施できた。(色幼) ・預かり保育や放課後学習教室の担当者と常に連携を図ることができた。(清幼) 	

教育の重点	16 子育て支援と預かり保育の充実
具体的施策	(1) 子育て支援と預かり保育の充実
主要事業	② 預かり保育の実施にあたっての諸条件・実態への十分な配慮
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・夜道の街灯設置, 雪道の除雪, 施設への電話の設置。(色幼) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・施設設備については整えてもらった。(色幼) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	17 教職員の研修の充実と実践的研究の奨励
具体的施策	(1) 研修の充実と実践的研究の奨励
主要事業	① 専門職としての意識の高揚と研修機会の充実
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・校内研究テーマに基づいた組織づくりと役割分担。PDCAサイクルに基づいた検討と改善。(全) ・各種研修会参加と校内での伝講会の実施。先進研究校より講師を招いて校内研修の実施。(全) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・研究推進委員会の計画もと年4回の全校授業研が実施できている。また県内外の公開研究会への参加など研修の機会も充実している。(色小・色幼) ・校内研究テーマに基づき、教員を二つの組織に分けて、役割分担しながら研究推進に努めることができた。PDCAサイクルに基づいた検討と改善を意識しながら進められるようになってきている。(清小) ・各種研修会参加と校内での伝講会を実施することができた。研究会に出張した教員が、配布資料とは別に、自分の参観レポートを作成し、教職員に配布するなど、意欲が高まってきている。(清小) ・校内研究に基づいた組織づくりと役割分担、PDCAサイクルに基づいた検討と改善、各種研修会参加と伝講会の実施などを確実に行った。(色中) 	

教育の重点	17 教職員の研修の充実と実践的研究の奨励
具体的施策	(1) 研修の充実と実践的研究の奨励
主要事業	② 校内研究体制の確立と研究・研修内容の充実
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・町と園との共同研究体制の確立と研究・研修内容の充実を図る。(色幼・清幼) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・幼保小連携推進事業を通じ、清水幼稚園と共通テーマで研究を進めている。また、幼幼、幼保、幼保小それぞれの連携も深まっている。(色幼) ・校長の指導のもと校内研究推進委員会を立ち上げ、研究主任を中心に校内研究を進めた。授業研究会を通して、教師間に校内研究への参画意識が高まった。(色中) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	17 教職員の研修の充実と実践的研究の奨励
具体的施策	(1) 研修の充実と実践的研究の奨励
主要事業	③ 各職責や分掌に即した個人研究の奨励とその実践化
具体的取組計画等 ・それぞれの担当や立場、分掌に即した個人研究の奨励とその実践化を図る。(全)	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 ・自己研鑽を促し個人研究の奨励を行っているが、それぞれ個人差が大きい。(色小・色幼) ・校内研究テーマに基づいた共同研究が主となっており、個人研究の段階までは至っていない。(色中)	

教育の重点	17 教職員の研修の充実と実践的研究の奨励
具体的施策	(1) 研修の充実と実践的研究の奨励
主要事業	④ 幼稚園及び小・中学校教職員の連携による研修の充実
具体的取組計画等 ・学校行事等を通して、幼・小・中学校教職員相互の連携の充実を図る。(全)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・保育所、幼稚園、中学校をそれぞれ相互に訪問する機会が増え、研修の機会や連携を深めることができた。(色小・色幼) ・授業参観をし合うことで、連携・交流を深めることができた。(清小) ・中学校の行事(合唱コンクール、卒業式)に、小学校6年生児童が参加させてもらい、交流を図ることができた。(清小) ・幼稚園児童が、小学校(主として低学年)の授業を参観したり、2年生「生活科」(おもちゃまつり)の単元で、幼稚園児を招待して共に楽しんだり、5年生児童と幼稚園児の交流会を実施するなど、併設のよさを十分に生かして、連携を深めることができた。(清小・清幼) ・「幼保小公開研究会」に向けて、これまでの連携・交流の在り方を振り返ったり、実践のまとめをしたりすることで、研修の充実を図ることができた。(清小・清幼) ・中学校行事への小6児童及び小学校職員が参加する交流活動を行った。また、中学校教員が小学校に出向いての、交流授業を保体、音楽で実施した。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	18 教職員の服務規律遵守の徹底
具体的施策	(1) 教職員の服務規律の遵守
主要事業	① 教育公務員としての自覚と規律の遵守
具体的取組計画等 ・教育公務員としての自覚と規律の遵守の徹底を図る。(全)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・定例の職員会議や打ち合わせをはじめ様々な機会に、繰り返し規律遵守の徹底を図った。(色小・色幼) ・公務員としての服務規律について、常日頃から職員に周知・徹底させることができた。職員会議の校長指示・伝達、毎週朝の打ち合わせは、折に触れて実施してきた。(清小・清幼) ・「生徒に説明できないことは絶対にしない」をスローガンに、教職員の自覚と規律の徹底を図った。また、諸会議・打ち合わせ時に管理職から、教職員へ声がけを欠かさなかった。(色中)	

教育の重点	18 教職員の服務規律遵守の徹底
具体的施策	(1) 教職員の服務規律の遵守
主要事業	② 職務遂行における危機管理意識の高揚
具体的取組計画等 ・教育計画の中に服務規律を示し、共通理解を図る。(色小) ・危機管理意識の高揚に向け、必要に応じて研修や啓発を行う。(色小) ・何でも言える職場づくりを目指す。(清小) ・公務員としての服務規律について、常日頃から教職員に周知・徹底させる。(清小) ・万が一の事故発生時の対応について、事例を参考に考えさせ、意識付けを行う。(清小)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・機会を捉え情報を共有し、服務規律の遵守や危機管理意識の高揚に努めた。(色小) ・何でも言える職場づくりを目指し、風通しのよい環境を維持することができた。(清小・清幼) ・公務員としての服務規律について、常日頃から職員に周知・徹底させることができた。職員会議の校長指示・伝達、毎週朝の打ち合わせ等々、折に触れて実施してきた。(清小・清幼) ・万が一の事故発生時の対応について、事例を参考に考えさせ、意識付けを行うことができた。(清小) ・災害については、防災マニュアル通り、教職員が行動できるよう確認を欠かさなかった。また、生徒へのリスクマネジメントに関する指導も行った。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	18 教職員の服務規律遵守の徹底
具体的施策	(1) 教職員の服務規律の遵守
主要事業	③ 児童・生徒や保護者及び地域との信頼関係の確立
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりや学級だよりを通して学校の状況を知らせたり、連絡帳や保護者会を通して信頼を築く。(色小) ・保護者や地域の人々との信頼関係づくりに努める。(清小) ・各種たより(学校・保健・学年・学級・給食等)の発行を通して、学校の情報や生徒の様子を知らせる。(色中) ・校外学習や職業体験、立志式等の体験学習を実施する。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・各種たよりや学年学級懇談会、学校行事などを通じ、信頼関係づくりに努めた。(色小) ・①「学校だより」・「学年だより」を通して積極的に学校の様子を知らせた。(学校だよりは、全14号。毎月、区長にお願いして学区内の全戸に配布してもらった。)(清小) ・②連絡帳や電話連絡、保護者会を通して情報交換を密に行い、信頼を築くことができた。(清小) ・③メールによる連絡網を整備しており、自然災害等による情報、宿泊学習における児童の様子等、できるだけきめ細かく情報を伝えるようにしてきた。保護者からも高く評価してもらっている。(清小) ・学校だよりは区長を通して、全戸に配布し、学校からの情報発信に努めた。また、保護者アンケート、「学校の教育活動は満足できるか」という問いに対して90%の保護者から肯定的な回答を得ることができた。(色中) 	

教育の重点	19 教職員の健康管理と福利厚生の実施
具体的施策	(1) 教職員の健康管理と福利厚生の実施
主要事業	① 職員の心身の状態の的確な把握と適切なケアの推進
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・日常観察や養護教諭からの情報などを基に職員の健康状態を把握し、健康増進や病状からの回復を目指す。(色小) ・日ごろから職員同士のコミュニケーションを大切に、何でも相談できる雰囲気を出すようにする。(清小) ・養護教諭との連携を図り、職員の健康状態について相談できる体制を整える。(清小) ・日常の会話等から、健康状態を把握する。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・教職員一人一人の日常の言動や職員からの情報などをもとに、健康状態や心身の状況の把握に努めている。(色小) ・日常観察や養護教諭からの情報などを基に職員の健康状態を把握し、健康増進や病状からの回復を目指す。(色小) ・日ごろから職員同士のコミュニケーションを大切に、何でも相談できる雰囲気を出すことができるようにしてきた。男性教員については、主として教頭が、女性職員に対しては、主として養護教諭が、相談の対象であることを確認してきたので、特に大きなトラブルにはならなかった。(清小) ・養護教諭との連携を図り、職員の健康状態について相談できる体制を整えることができた。(清小・清幼) ・日頃から、職員間・職員と管理職間での会話を通して、心身の状況把握に努めた。(色中) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	19 教職員の健康管理と福利厚生の充実
具体的施策	(1) 教職員の健康管理と福利厚生 of 充実
主要事業	② 各種休暇の有効利用の促進
具体的取組計画等 ・各種休暇の有効利用を進める。(色小)	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 ・年次休暇や特別休暇(リフレッシュ休暇)など、有効活用を促している。(色小) ・各種休暇の有効利用を進めることができた。また、毎日の勤務について、出勤・退勤時間の記録を取ってもらうことを通して、毎月の「勤務超過時間」を、全職員に対して押さえることができた。(清小・清幼) ・年休の計画的な消化について声かけは欠かさなかったが、大半の職員は、1割の消化にも満たないのが現状である。今後、健康の保持・増進のためにも、その方策を検討する必要がある。(色中)	

教育の重点	19 教職員の健康管理と福利厚生 of 充実
具体的施策	(1) 教職員の健康管理と福利厚生 of 充実
主要事業	③ 各職場単位及び職場相互の福利厚生活動の推進
具体的取組計画等 ・互助会活動の紹介。(色小) ・夏季休業中町民体育館において、ソフトバレーボール大会を実施する。(色小・清小) ・パークゴルフを実施する。(色中)	
達成度の評価	② やや不十分
評価及び改善策 ・福利厚生活動について、職場内での実施はできたが、他校との共同実施はできなかった。(色小) ・計画通りに内容を推進することができなかった。(清小) ・職員の福利厚生のために、学校独自で何らかの会を行うことはできなかった。指導要領実施に伴う授業増により、多忙感も増す中、どのような手立てがあるか模索していきたい。(色中)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	20 学校環境の安全と整備・充実
具体的施策	(1) 学校環境の安全と整備・充実
主要事業	① 学校周辺や通学路の安全点検と施設設備の定期点検・整備
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・点検表を作成し毎月1回実施する。用務員が修繕できない部分は外部へ修繕を依頼する。(色小) ・月2回、街頭指導を実施する。通学路における危険個所の情報があれば、現地を確認のうえ対応する。(色小) ・毎月1日を安全の日とし、教職員が3つのグループに分かれて点検を行う。(清小) ・点検のグループは、学期ごとに入れ替わり、違った眼で点検する。また、異常がある場合は速やかに対処する。(清小) ・毎月、月の初めに施設設備を全職員で分担して点検し、問題には担当、教頭、事務、業務員で速やかに対応する。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・安全点検は定期的実施できた。また、月2回の街頭指導は有効であり、7月には通学路における危険箇所の確認を行うことができた。(色小) ・毎月1回を「安全の日」として設定し、安全点検表に基づいて、安全点検を実施することができた。用務員が修繕できない部分については、教育委員会の指示を仰ぎながら、速やかに外部に修繕を依頼した。(清小) ・点検のグループは、学期ごとに入れ替わり、違った眼で点検する。また、異常がある場合は速やかに対処することができた。(清小) ・PTAの協力を得て、通学路及び地区の危険箇所の点検を行い、対処が必要な場所には赤旗を設置し、注意を喚起した。また、地区ごとの生徒の集会時に、生徒から危険箇所を挙げさせ、生徒の目線による危険箇所を把握することができた。(色中) 	

教育の重点	20 学校環境の安全と整備・充実
具体的施策	(1) 学校環境の安全と整備・充実
主要事業	② 施設・設備・植栽の管理・保全と安全指導の徹底
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・通学路や地域の異変について職員が巡視し、安全確保を目指す。7月にはPTAとともに地区巡視を行う。(色小) ・日常的に校舎内外の安全点検を行う。(清小) ・台風や暴風雪など、児童の登下校時の安全確保のために、職員が手分けして学区内の巡回をもとに危険箇所等について把握し指導に生かす。(清小) ・夏休み直前に、PTAの協力を得ながら学校周辺や通学路の安全点検を行う。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・父母教師会安全指導部やウォーキングパトロール隊の協力を得て、登下校時の安全については充実していた。(色小) ・日常的な校舎内外の安全点検、月に1回のきめ細かな安全点検活動に加え、自然災害による被害が予想される場合には、通学路や地域の異変について全職員が分担して地区巡視を行い、安全確保を目指すことができた。7月にはPTAとともに地区巡視を行うことができた。(清小) ・月初めの施設の安全点検を確実にし、破損箇所を発見、早急に修繕するなど対処した。また、日々校舎内外の確認も欠かさなかった。(色中) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	20 学校環境の安全と整備・充実
具体的施策	(1) 学校環境の安全と整備・充実
主要事業	③ 学校環境の美化及び緑化の推進
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・学年花壇の運営, 緑化委員会による草花栽培。ロータリーやプランターの植栽。(色小) ・地震や台風等自然災害の防止に努め, 転倒物や落下物の除去, 非常口や出入口等の環境整備を行う。(清小) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・各学年の花壇やロータリーの花壇には, 年間を通して草花を栽培することができた。(色小) ・地震や台風等自然災害の防止に努め, 転倒物や落下物の除去, 非常口や出入口等の環境整備を行うことができた。(清小) ・学年花壇の運営, 緑化委員会による草花栽培。ロータリーやプランターの植栽を積極的に行うことができた。特に, 年に2回の「花いっぱい運動」では, 学校支援ボランティアの協力ももらいながら, 除草, 土の手入れ, 植栽時の指導等を行うことができた。(清小) ・校舎建設に伴う花壇の撤去により花いっぱい運動を実施することはできなかった。親子奉仕作業を2回実施し, 学校環境美化及び緑化に努めた。(色中) 	

教育の重点	20 学校環境の安全と整備・充実
具体的施策	(1) 学校環境の安全と整備・充実
主要事業	④ 学校教育関連施設及び給食用食材の放射線量の測定と児童・生徒の安全確保
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・原則的に毎月曜日に校地内の放射線量の測定を行い, 児童・生徒の安全確保の目安とする。(全) ・おもに給食に用いられる食材に吸収されている放射能を測定し安全基準以下であることを確認する。(全) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・毎週月曜日の放射線量測定はきちんと行った。また, 栽培活動で収穫したさつまいもやもち米は安全基準を確認の上, 使用した。(色小・色幼) ・原則的に, 毎月曜日に校地内の放射線量の測定を行い, 児童・生徒の安全確保の目安とすることができた。ただし, 清水地区(清水小・幼稚園・保育所)は, 他の地区と比べても放射線量が高く, どのように対応すべきなのか, 迷っているところもある。(毎週報告しているが, そのままであるならば, 報告の意味があるのかと考えてしまうこともある。)(清小・清幼) ・毎週の放射線量測定を通して, 常に危険な数値でないことを確認した。(色中) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	21 施設・設備の開放の促進
具体的施策	(1) 施設・設備の開放の促進
主要事業	① 地域並びに社会教育・社会体育への積極的な開放の推進
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・講堂や校庭,他の必要な施設を開放する。(色小) ・サッカー, 野球, 自転車, 太鼓等の団体や, 地区の行事等に校庭や体育館を貸与する。(清小) ・スポーツ少年団や社会人野球, 太鼓愛好会等の求めに応じ貸与する。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・校庭は野球やタッチラグビー, 講堂はバスケットボール, バレー, 野球などの諸団体に年間を通じて貸与した。(色小) ・サッカー, 野球, 自転車クラブ, 太鼓等の団体や, 地区の行事等に, 校庭や体育館を積極的に貸与することができた。(清小) ・学校の教育活動に支障のない範囲内で積極的に貸与した。(色中) 	

教育の重点	21 施設・設備の開放の促進
具体的施策	(1) 施設・設備の開放の促進
主要事業	② 学校図書館の開放と県や町図書館との連携による活用の促進
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・行間や昼休み等を利用して図書の貸し出しを行い, 読書習慣を身に付けさせる。(色小・清小) ・調べ学習など授業での活用にも努める。(色小・清小) ・学校図書館ボランティアの協力を得て, 図書の整備を行い, 使いやすい環境を整える。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・図書の整備と使いやすい図書室づくりに努めたが, さらに使いやすい環境を整えたい。(色小・清小) ・学校図書館ボランティアの協力を得て, 図書室の環境づくりが進み, 生徒の読書意欲が高まった。(色中) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	22 教材・教具の整備・充実と活用の促進
具体的施策	(1) 教材・教具の整備・充実と活用の促進
主要事業	① 教材・教具・備品の点検・整備・活用
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・常に備品の整理に心がけ、学期毎に備品や台帳を整理する。備品台帳をもとに備品の購入や廃棄を行う。(色小) ・職員より希望を募り、重要度の高いものから予算を執行する。高額なものは、数年に分けて購入する。(色小) ・1学期末に、備品台帳をもとに備品整理を行う。使用不可の備品は台帳から抹消し、処分する。(清小) ・児童の教育活動に必要な教材備品等の優先順位を考え、予算要求する。(清小) ・夏休み期間中に、教科部会ごとに教科備品等について点検・整理する。教科部会等で作成した購入計画を担当が集約して検討し調整の後、町に要望する。(色中) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・各担当を中心に学期毎に、教材教具の備品点検や備品台帳の整備を行った。(色小) ・1学期末に、備品台帳をもとに備品整理を行うことができた。その際、使用不可の備品は台帳から抹消し、処分することができた。(清小) ・児童の教育活動に必要な教材備品等の優先順位を考え、予算要求をすることができた。(清小) ・各分掌で確実に点検・整備を行い、備品台帳をもとに廃棄等を行った。また、予算の範囲内で、各教科・領域からの希望を優先順位をつけ生徒の教育活動に必要な備品を整備した。(色中) 	

教育の重点	22 教材・教具の整備・充実と活用の促進
具体的施策	(1) 教材・教具の整備・充実と活用の促進
主要事業	② コンピュータや視聴覚機器等の効果的活用の推進
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み等の校内研修や年次計画的な校内授業研究等において、視聴覚機器やコンピュータの効果的な活用について積極的な取り組みを行い、互いに学び合うとともに、その効果等についても検証する。(全) 	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータや視聴覚機器等の活用については、校内授業研やその他必要に応じて、適宜情報担当が中心となり活用の促進を行っている。(色小) ・PC、電子黒板等の使用頻度は増しているが、使用する教員が固定化している傾向もある。活用の技能については個人差があり、さらに技能を向上させる必要がある。(色中) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	22 教材・教具の整備・充実と活用の促進
具体的施策	(1) 教材・教具の整備・充実と活用の促進
主要事業	③ 民俗文化財等の保護・管理と効果的活用
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・活用と整備に努める。(色小) ・教材・教具の活用について職員研修を行う。保管場所を明確にし、日常的に点検整備を行う。(清小) ・夏休み期間中に、教科部会ごとに行う。(色中) ・日常的に共通して使用する備品等は、職員室や放送室に保管し、活用しやすくする。(色中) 	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・学校の郷土資料室は定期的に点検・整備している。また、5年生の稲作で使用している道具についても大切に扱わせている。(色小) ・教材・教具の活用について職員研修を行う。保管場所を明確にし、写真や一覧表にして共有化しているため、日常的に点検整備を行うことができた。業務の効率化に大変役立っている。(清小) ・教材・教具の活用について職員研修を行うとともに日常の整理・整頓を今後も継続して行う。(色中) 	

教育の重点	23 生涯学習の推進
具体的施策	(1) 学習機会の拡充と生涯学習情報の提供
主要事業	① 生涯学習関係行事予定表の全戸配布による情報の提供
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・町内各施設等の年間行事予定を掌握。(公) ・各家庭にカレンダー方式で配布し「色麻町行事暦」とともにスケジュールの組み立てに利用。(公) ・将来は各家庭にネット配信も考慮。(公) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習行事予定表と合わせて、町ホームページ、有線放送、チラシなどで情報提供を行った。今後は、無線ネットワークの活用を検討したりなど、きめ細かな情報提供に努める。(公) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	23 生涯学習の推進
具体的施策	(1) 学習機会の拡充と生涯学習情報の提供
主要事業	② 出前講座等を活用した学習機会の提供
具体的取組計画等 ・小学校における社会科学習の一環として町内の自然や歴史の話を提供する。(公)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・地域の老人クラブ1団体が4講座, 町婦人会1講座の年間5講座が実施された。(公) ・講座メニューの見直しを定期的に行った。(公)	

教育の重点	23 生涯学習の推進
具体的施策	(1) 学習機会の拡充と生涯学習情報の提供
主要事業	③ 広報紙や町のホームページ, 有線放送等を活用した学習情報の提供
具体的取組計画等 ・広報しかまで毎月, 生涯学習のページで事業予定や事業の経過や報告を行う。(公) ・町ホームページで, 多彩な内容で情報提供を行う。また, ホットな情報を提供できるよう定期的に更新する。(公) ・事業の参加者募集などを有線放送を活用し広報する。(公)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・生涯学習情報を提供するため広報しかま, 町ホームページ, 有線放送は効果が大きいので, 今後も積極的な情報発信に努めたい。(公)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	23 生涯学習の推進
具体的施策	(2) 生涯学習の環境づくりの推進(協働教育プラットフォーム事業)
主要事業	① 学校, 家庭及び地域住民等相互の連携・協力の推進
具体的取組計画等 ・学校から直接又は社会教育主事を通じて, 学校支援ボランティアに登録されているリストの中から, 事業にふさわしい人材を要請してもらい, 派遣・活用をもとに各事業や教育の効果を高める。(全)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・ボランティア要請の窓口を学校から公民館に移したことで簡略化され, 学校からの新たなボランティアの要請が増えた。またそのような新しい要請に対しては, 公民館職員が協力して希望に添ったボランティアを探し出し, 派遣することができた。学校からも大変感謝された。(公)	

教育の重点	23 生涯学習の推進
具体的施策	(2) 生涯学習の環境づくりの推進(協働教育プラットフォーム事業)
主要事業	② 新たな指導者の育成とボランティアの養成
具体的取組計画等 ・学校(含 幼稚園, 保育所)を通じて, 各種事業にボランティアとしての参加を促進する。(公)	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 ・学校の要請に応じたボランティアを派遣することで, 新たな指導者の育成に取り組むことができた。(公)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	23 生涯学習の推進
具体的施策	(2) 生涯学習の環境づくりの推進(協働教育プラットフォーム事業)
主要事業	③ 既存のサークル活動への支援
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・必要情報の提供。(公) ・活動場所の無償提供。(公) 	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・体育団体, 文化団体など町の協会を通して, 各種情報を提供している。また, 施設貸し出しなどにおいて利用しやすい施設環境づくりに努めている。(公) 	

教育の重点	23 生涯学習の推進
具体的施策	(2) 生涯学習の環境づくりの推進(協働教育プラットフォーム事業)
主要事業	④ 学習講座参加者による継続学習のためのサークル移行の推進
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・自主運営のノウハウのアドバイスと指導。(公) ・文化協会への加入。(公) 	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・公民館事業の中でも, 参加者同士で気運が高まり, サークル活動へと移行できるような状況の場合には, 自主活動できるようアドバイスや指導相談に努めている。(公) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	23 生涯学習の推進
具体的施策	(3) 生涯学習施設の効果的活用の促進
主要事業	① 気軽に利用できる環境づくりと学校教育施設の開放
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・学校講堂等施設の開放。(公) ・休日を含めた利用の促進。(公) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・親しみを持って気軽に利用できるよう、来館者へのあいさつ励行に努めたり、来館しやすく利用しやすい環境づくりに努めた。(公) ・体育館などの公共体育施設が利用できないような場合は、利用者に学校体育施設を進めたりなど、利用ニーズに対応している。学校体育施設の開放では、鍵の貸し借りが便利にスムーズに行えるよう努めている。(公) 	

教育の重点	24 ライフステージに応じた教室, 講座等の充実
具体的施策	(1) 幼児教育の充実
主要事業	① 幼児期を対象とした情操教育の場の提供
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・公民館との共催で、家庭教育事業を実施。(幼) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・講師や講座内容など大変適切である。(幼) ・幼稚園, 保育所, 子育て支援センターの幼児並びに祖父母, 保護者を対象に学習機会を提供した。(公) ・子どもたちが遊びを通して、触れあいを深めたり、身近に音楽や運動に触れることによって豊かな情操を育む機会を提供することができた。(公) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	24 ライフステージに応じた教室, 講座等の充実
具体的施策	(1) 幼児教育の充実
主要事業	② 幼稚園・保育所及び児童センターとの連携強化
具体的取組計画等 ・影絵劇, 親子レクリエーション, 体育遊び, 子育て日記, わらべ歌遊び, クラシック鑑賞を計画。(公)	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 ・事業計画立案や事業後の次年度への取り組み内容など, 各関係機関が連携を深めながら取り組んだ。(公)	

教育の重点	24 ライフステージに応じた教室, 講座等の充実
具体的施策	(2) 家庭教育の充実(協働教育プラットフォーム事業)
主要事業	① 子育て・親育ち講座の開催
具体的取組計画等 ・小学校と幼稚園の保護者を対象に4会場で, 子育て, 子どもの生活習慣, 食育などをテーマとした「家庭教育講演会」を開催する。(公)	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 ・今年度は色麻小学校で自衛隊による震災復興に関する講演会を予定していたが, 自衛隊側の都合で急遽キャンセルとなり実施できなかった。その他の会場については, 概ね好評を得た。(公)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	24 ライフステージに応じた教室, 講座等の充実
具体的施策	(2) 家庭教育の充実(協働教育プラットフォーム事業)
主要事業	② 家庭教育, 子育てに関する相談体制の充実
具体的取組計画等 ・平成21年度に実施した, 訪問型家庭教育事業の支援チームとして携わったメンバーが, 放課後子ども教室の安全管理指導員をしていることから, 訪問型事業等で培った家庭教育のノウハウを, 必要に応じて保護者に提供する。(公)	
達成度の評価	② やや不十分
評価及び改善策 ・子育て支援チームによる相談体制は現在色麻町には組織されていない。ただし, 放課後子ども教室等において, 安全管理指導員がその都度保護者からの相談に応じるようにしている。(公)	

教育の重点	24 ライフステージに応じた教室, 講座等の充実
具体的施策	(2) 家庭教育の充実(協働教育プラットフォーム事業)
主要事業	③ 家庭教育の情報提供
具体的取組計画等 ・家庭教育講演会の内容や, 必要な家庭教育情報を掲載した広報紙「ほっとたいむ」を発行し, 全戸配布する。(公)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・プラットフォーム事業の内容や家庭教育に関する情報を広報紙「ほっとたいむ」としてまとめ, 年間4号を全戸配布することができた。(公)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	24 ライフステージに応じた教室, 講座等の充実
具体的施策	(3) 青少年教育の充実(協働教育プラットフォーム事業)
主要事業	① 地域教育力の再生に向けた青少年の体験活動・ボランティア活動の支援
具体的取組計画等 ・サマーキャンプ, こどものまち, 合宿通学等を実施する。(公)	
達成度の評価	⑤ 大変満足
評価及び改善策 ・サマーキャンプ, こどものまち, 合宿通学等を計画通り実行することができた。参加者も多く, 青少年教育の充実を図ることができた。(公)	

教育の重点	24 ライフステージに応じた教室, 講座等の充実
具体的施策	(3) 青少年教育の充実(協働教育プラットフォーム事業)
主要事業	② 地域ぐるみで青少年を守り育てる体制の整備
具体的取組計画等 ・学校, 家庭, 地域の連携のもと, 心身ともに健全な青少年を育む。(公)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・児童の登下校時の安全確保や, 地域の人達が先生となる学校支援の活動を推進した。(公) ・協働教育プラットフォームの基盤をさらに強化していく必要がある。(公)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	24 ライフステージに応じた教室, 講座等の充実
具体的施策	(3) 青少年教育の充実(協働教育プラットフォーム事業)
主要事業	③ 放課後における子どもたちの安全・安心な居場所の確保
具体的取組計画等 ・放課後子ども教室推進事業を色麻・清水両小学校の2教室を学童保育と連携しながら実施する。放課後子ども教室は長期休業日や土日祝祭日を除き, 年間200日を計画。学童保育は, 長期休業日や土曜日も開設する。(公)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・平成24年度は国の委託事業として実施。清水・色麻両小学校とも大きな事故もなく実施することができた。(公)	

教育の重点	24 ライフステージに応じた教室, 講座等の充実
具体的施策	(3) 青少年教育の充実(協働教育プラットフォーム事業)
主要事業	④ ジュニアリーダーの育成と地域貢献の機会拡大
具体的取組計画等 ・ジュニアリーダー初級, 中級, 上級の各研修会やサマーキャンプ, こどものまち, 七夕会, クリスマス会等の各種事業を通して, 資質の向上を図る。(公)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・ジュニアリーダー初級, 中級, 上級研修会すべてに町から多数のジュニアリーダーが参加し, 研修に努めることができた。また, 研修で学んだことを子供会の派遣行事等で生かすことができた。(公)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	24 ライフステージに応じた教室, 講座等の充実
具体的施策	(3) 青少年教育の充実(協働教育プラットフォーム事業)
主要事業	⑤ 青年たちの広域的な出会いや交流機会の提供
具体的取組計画等 ・結婚相談会の開催(年1回以上)。(公)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・定住自立圏青年交流事業として, 夏と冬の2回, 青年の交流事業が行われ, 色麻町からも計3名の男女が参加して交流を深めることができた。(公)	

教育の重点	24 ライフステージに応じた教室, 講座等の充実
具体的施策	(3) 青少年教育の充実(協働教育プラットフォーム事業)
主要事業	⑥ 青年の地域活動支援
具体的取組計画等 ・大崎地方青年文化祭(コースフェスティバルin大崎)に参加。(公)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・大崎地方青年文化祭(コースフェスティバルin大崎)に地域の団体が参加すると共に, 当日の運営にもボランティアとして色麻町のジュニアリーダーが参加し, 盛り上げることができた。(公)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	24 ライフステージに応じた教室, 講座等の充実
具体的施策	(4) 成人教育の充実
主要事業	① 成人式の開催
具体的取組計画等 ・新成人の自覚ある社会参加の促進。(公)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・該当者79名のうち, 出席者は70名で, 出席率は, 88. 61%であった。成人式実行委員会を組織し記念文集「はたち」を作成した。(公)	

教育の重点	24 ライフステージに応じた教室, 講座等の充実
具体的施策	(4) 成人教育の充実
主要事業	② 成人の多様な学習ニーズに対応する事業の推進と学習機会の拡大
具体的取組計画等 ・年齢層に対応した講座等の開催。ヨガ教室等。(公)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・学習ニーズに対応した事業ができている。健康づくりとともに参加者同士の交流とコミュニケーションづくりにも効果的であり, 参加者も生きがいを感じているようである。(公)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	24 ライフステージに応じた教室, 講座等の充実
具体的施策	(4) 成人教育の充実
主要事業	③ 外国語や異文化にふれあう機会の提供と国際理解の推進
具体的取組計画等 ・ALTの活用により, 英会話教室を開催して異国を身近に感じてもらう。(公)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・ALTのハロルド先生と山形大学の佐々木先生を講師に英会話教室を開催。春と秋の2講座を開催。初心者のための外国語習得のほかに, クッキング教室なども行われ, 料理を通して異文化にふれあう機会とした。(公)	

教育の重点	24 ライフステージに応じた教室, 講座等の充実
具体的施策	(4) 成人教育の充実
主要事業	④ ボランティア活動と地域活動への参加の推進
具体的取組計画等 ・運動会や文化祭をはじめとする, 体育・文化団体の各種事業にボランティアとして関わってもらうことでその育成を図る。また, 学校支援ボランティアとして, 学校の教育活動を支援してもらうことにより, 生きがいづくりを推進する。(公)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・小学校の授業の中で, 縫い物や農業体験などで地域の先生として指導してもらい, 学校支援ボランティアとして協力を得ることができた。(公) ・町民運動会のボランティアスタッフとして大会運営に協力してもらった。(公)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	24 ライフステージに応じた教室, 講座等の充実
具体的施策	(4) 成人教育の充実
主要事業	⑤ 生活合理化運動の推進
具体的取組計画等 ・「すばらしい色麻を創る協議会」の協議会活動計画に基づき計画的に実施。(公)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・「心あわせて創りだす, ゆたかな住みよい町づくり」をキャッチフレーズとしたリーフレットを全戸配布し, 生活合理化運動の啓蒙を図った。(公)	

教育の重点	24 ライフステージに応じた教室, 講座等の充実
具体的施策	(5) 女性教育の充実
主要事業	① 女性の特性を活かした地域社会活動への参加の推進
具体的取組計画等 ・婦人会活動への支援・協力。(公)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・婦人会が実施する事業が様々な学習活動や地域コミュニティ形成につなげていけるよう取り組みに協力し, よりよい女性教育が推進できるように努めた。(公)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	24 ライフステージに応じた教室, 講座等の充実
具体的施策	(5) 女性教育の充実
主要事業	② ニーズに即した学習講座の実施
具体的取組計画等 ・各種講座の開催。(公)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・女性に限定した講座は開催していない。成人教育事業の中で幅広く女性の参加者が増えるような講座開催の工夫をしている。(公)	

教育の重点	24 ライフステージに応じた教室, 講座等の充実
具体的施策	(6) 高齢者教育の充実
主要事業	① 高齢者の多様化・高度化する学習ニーズに応じた学習機会の提供
具体的取組計画等 ・高齢者も気軽に参加できる教室の開催。(公)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・高齢者が健康への関心を高め, いつでも元気に生活することができるように気軽に参加できる健康づくりについての学習機会の提供に努めた。(公)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	24 ライフステージに応じた教室, 講座等の充実
具体的施策	(6) 高齢者教育の充実
主要事業	② 高齢者の「健康」と「生きがい」につながる学習講座や研修の実施
具体的取組計画等 ・高齢者にかかわる講座「健康と笑い」「認知症の予防」「老化予防の食生活」など健康講話会6回, 施設見学会1回の実施。(公)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・豊齢者学級を福祉課と連携して6回開催した。消費生活, 健康, 食をテーマにした内容で好評だった。今後も高齢者生きがいを持って取り組めるよう学習機会の提供に努める。(公)	

教育の重点	25 芸術文化活動の振興
具体的施策	(1) 芸術鑑賞の機会の提供と拡充
主要事業	① 巡回小劇場や青少年劇場小公演の企画と実施
具体的取組計画等 ・県巡回小劇場の開催・・・両小学校児童対象。(公) ・県青少年劇場の開催・・・中学校生徒対象。(公) ・本物の舞台芸術体験事業の開催・・・小・中学校児童生徒対象等の積極的な実施。(公)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・かおり高い芸術文化を身近に鑑賞する機会を提供し, 豊かな情操を養い, 豊かな人間性を養うことができた。(公) ・生の演奏を聴くことができたことは, 子どもたちにとってよい体験である。(公)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	25 芸術文化活動の振興
具体的施策	(2) 芸術文化活動の担い手の育成
主要事業	① 町文化協会の活動及び支援体制
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・さなぶり芸能大会の実施・・・郷土芸能の振興(郷土芸能発表, 婦人会等チャリティ)。(公) ・町民文化祭の実施・・・町文化協会加盟団体の作品展示及びステージ発表。(公) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・文化活動の中心である文化協会と協力・連携して町民文化祭を開催し文化活動の推進を図ってきた。今後、初心者向けの講座開催など様々な芸術活動に触れる機会をつくっていききたい。(公) ・大崎地域の文化団体の中で、映像による伝承活動に取組みDVDを制作した。(公) 	

教育の重点	25 芸術文化活動の振興
具体的施策	(2) 芸術文化活動の担い手の育成
主要事業	② サークル活動への支援
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・フラガール, 絵手紙, 女声合唱団Viente, エアロビクス等, その多くは文化協会所属による活動の継続。(公) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲を持った参加者同士の支援として, 農村環境改善センターを活動場所として提供したり, 様々な情報提供や学習相談に応じたりなど, 育成と支援を行っている。(公) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	26 文化財保護体制の整備充実と活用の推進
具体的施策	(1) 文化財保護体制の整備
主要事業	① 文化財保護管理事業
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護審議会委員による文化財保存及び活用に関する調査審議。(公) ・開発に際して、埋蔵文化財保護のための協議、調査など。(公) ・南奥羽山系カモシカ保護地域の調査及び幼獣カモシカの保護、死亡カモシカの埋葬。(公) ・文化財パトロール・・・文化財保護地区指導員による埋蔵文化財の現況調査。(公) ・史跡整備・・・国指定「日の出山瓦窯跡」、県指定「念南寺古墳群」史跡などの周辺及びアクセス道路の整備。(公) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・年3回の審議会を開催し、審議を行った。(公) ・町道の開発、個人住宅の新築等に際し、法に基づいた対応を行った。(公) (窓口対応26件／工事立会3件／協議2件) ・岩手・山形・宮城のカモシカ特別調査への協力のほか、死亡個体に関する記録作成と埋葬を行った。(公) (埋葬2件) ・文化財パトロール(県主催)で、史跡1件・遺跡5件の調査を実施した。(公) ・文化財防火デーに、県指定有形文化財安置寺の往生寺の防火査察を実施した。(公) ・小栗山地区船形神社の「木造十二神将立像」の調査を行い、町指定有形文化財に指定した。(公) 	

教育の重点	26 文化財保護体制の整備充実と活用の推進
具体的施策	(2) 史跡の整備
主要事業	① 史跡の整備
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・史跡の草刈りやアクセス道路の整備(随時)。(公) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・指定史跡及びアクセス道路の整備を行った。(公) ・アルミ製の文化財標柱を作製し、設置した(小栗山船形神社)。(公) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	26 文化財保護体制の整備充実と活用の推進
具体的施策	(3) 伝統・伝承芸能活動の積極的な支援
主要事業	① 伝統・伝承芸能活動の積極的な支援
具体的取組計画等 ・町指定文化財の奨励・・・清水田植え踊り・清水神楽。(清小) ・郷土芸能活動の奨励・・・高城獅子舞保存会・カップギ色麻・河童太鼓・麦つき踊り・桜花太鼓・松坂節保存会・色麻小河童太鼓・清水小清水神楽。(公)	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 ・町指定文化財の奨励・・・清水神楽については、本年度「神楽クラブ」を新規開設し、クラブ単位での取り組みとした。学習発表会で、プログラムの一つとして公開した他、「コミセンまつり」では、保存会の人々の歌と太鼓等に合わせて、地域の人々に舞を披露することができた。(清小) ・町指定無形文化財(2件)及び伝統・郷土芸能活動を奨励(7件)した。代表者不在により、活動状況が不明な団体があるため、新たな代表者と今後調整を行う。(公) ・大崎地区文化協会連絡協議会が主体となった、「大崎地区伝統・伝承記録保存事業」が終了。成果として、記録冊子とブルーレイによる映像記録が完成した。(公) ・町文化協会と協力し、町指定無形文化財の公開に努めた。(公)	

教育の重点	26 文化財保護体制の整備充実と活用の推進
具体的施策	(4) 町内の文化財や資料展示室等を活用した学習機会の提供
主要事業	① 町内の文化財や資料展示室等を活用した学習機会の提供
具体的取組計画等 ・町内史跡めぐり(小学生への出前講座)の実施・・・念南寺・日の出山瓦窯跡・荒川堰等。(公) ・健康ウォーキングでの史跡講話・・・福祉課主催による目的地である史跡までのウォーキング後の講話。(公)	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 ・町内史跡めぐり等において講師を努めた(山形県団体・教職員研修・小学生総合等)。(公) ・百笑ウォーキングにおいて、「往生寺『木造円光大師像』」に関する説明を行った。(公) ・資料展示室において、刀剣の企画展・町指定文化財の公開等を実施した。(公)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	27 生涯スポーツの推進
具体的施策	(1) 生涯スポーツの普及振興
主要事業	① 町体育施設の環境整備
具体的取組計画等 ・体育施設の維持管理, 修繕, 除草等を行い, 多くの町民が安全で効率的に利用できるよう調整を図り, スポーツ振興に努める。(公)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・職員自ら環境整備に当たり, 必要最小限の経費で維持管理を行っている。(公)	

教育の重点	27 生涯スポーツの推進
具体的施策	(1) 生涯スポーツの普及振興
主要事業	② 町体育施設の効率的運用
具体的取組計画等 ・体育施設の予約状況を把握し, 多くの町民が安全で効率的に利用できるよう調整を図り, スポーツ振興に努める。(公)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・夜間や祝祭日の申込みにあたっては, 多くの町民に利用してもらうように努めるが, ある特定の団体の利用の偏りが目立つので, 利用予約状況を改善していく必要がある。(公)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	27 生涯スポーツの推進
具体的施策	(1) 生涯スポーツの普及振興
主要事業	③ スポーツ振興計画の策定
具体的取組計画等 ・平成25年度中に色麻町らしいスポーツ振興計画を策定。(公)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・平成25年3月に色麻町スポーツ推進計画を策定した。(公)	

教育の重点	27 生涯スポーツの推進
具体的施策	(1) 生涯スポーツの普及振興
主要事業	④ 総合型地域スポーツクラブの育成
具体的取組計画等 ・色麻町スポーツ振興計画をもとに、早期に総合型スポーツクラブを設立する。(公)	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 ・色麻町総合型]地域スポーツクラブ設立準備委員会を平成24年12月に設置した。準備委員会において、スポーツに関するアンケート調査を行い、町民のニーズを把握し、色麻町にクラブの必要性を検討していく。(公)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	27 生涯スポーツの推進
具体的施策	(1) 生涯スポーツの普及振興
主要事業	⑤ コーディネーショントレーニングの普及
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーショントレーニングを取り入れた研修会を実施する。(色小) ・有資格者にスキルアップの機会を提供する。(公) 	
達成度の評価	② やや不十分
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・8月に行われた町主催のコーディネーショントレーニング研修会に3名の教員が参加した。(色小) ・町内体育主任及び幼稚園教諭の研修会に、JACOT講師を招聘した。(公) 	

教育の重点	27 生涯スポーツの推進
具体的施策	(2) 各種スポーツ大会の実施
主要事業	①② 町民大運動会の開催 スポーツイベント「チャレンジデー」の開催
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・官民協働による町民大運動会や体育協会との緊密な連携のもとに、各種スポーツ大会及び事業(バドミントン・バレーボール・ボウリング・キンボール・野球・バスケットボール・ソフトボール・登山・スキー等)を実施する。(公) 	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・町民一体となって町民大運動会やチャレンジデーを行ったが、今後もスポーツの普及・啓蒙を図っていく。(公) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	27 生涯スポーツの推進
具体的施策	(2) 各種スポーツ大会の実施
主要事業	③ 各種スポーツ大会の実施
具体的取組計画等 ・スポーツを楽しむ親しむ機会を設け、日頃の運動不足の解消を図る。主に、秋～冬期間のスポーツ(登山・スキー等)を実施する。(公)	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 ・町民総合スポーツ大会は、体育協会との連携のもと実施したが、参加チームに偏りがあった。(公)	

教育の重点	27 生涯スポーツの推進
具体的施策	(2) 各種スポーツ大会の実施
主要事業	④ 各種スポーツ教室の実施
具体的取組計画等 ・スポーツを楽しむ親しむ機会を設け、日頃の運動不足の解消を図る。主に、秋～冬期間のスポーツ(登山・スキー等)を実施する。(公)	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 ・チャレンジデーに合わせて、スケボー教室を開催した。また、冬にはスキー教室を開催した。(公)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	27 生涯スポーツの推進
具体的施策	(3) 子どもの体力・運動能力の向上に向けた取組
主要事業	① 親子レクリエーションの開催
具体的取組計画等 ・親子で触れあう機会を提供することにより、親子の絆を深める。幼稚園、保育所、子育て支援センターで実施する。(公)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・幼稚園や保育所を対象に、宮城県レクリエーション協会より講師を招き、親子レクリエーションを実施し体力運動向上と触れあいを深めた。(公)	

教育の重点	27 生涯スポーツの推進
具体的施策	(3) 子どもの体力・運動能力の向上に向けた取組
主要事業	② 体育遊びの開催
具体的取組計画等 ・子ども達の運動能力の向上と、健康な体をつくるための機会を提供する。幼稚園、保育所、子育て支援センターで実施する。(公)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・幼稚園、保育所、子育て支援センターの親子を対象に、様々な運動を体験することで、運動することの楽しさを感じるとともに、親子の交流を深めた。(公)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	27 生涯スポーツの推進
具体的施策	(4) スポーツ少年団活動の支援
主要事業	① 町スポーツ少年団への支援
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団加入の募集, 受付, 保険の諸手続, 入団式, 卒業生を送る会などを実施する。(公) ・体育施設, マイクロバスの貸し出しなどの実施。(公) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団事業(入団・修了式, 研修会ほか)実施に対する支援を行った。(公) ・町内体育施設及びマイクロバスの貸し出し管理を行った。(公) 	

教育の重点	27 生涯スポーツの推進
具体的施策	(4) スポーツ少年団活動の支援
主要事業	② 町スポーツ少年団指導者協議会の設置
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団役員会, 指導者会議の開催。(公) 	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・指導者及び母集団(保護者)に対する研修会の支援及び情報提供を行った。(公) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	27 生涯スポーツの推進
具体的施策	(4) スポーツ少年団活動の支援
主要事業	③ 町スポーツ少年団の案内
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・朝会で、賞状を授与したり学校便りで紹介するなど、全校児童の意欲付けを図る。PTA総会等の場で、スポーツ少年団の集会を行う。(色小) ・朝会で、賞状を授与したり学校便りで紹介するなど、全校児童の意欲付けを図る。(色小) ・放課後や休業日に、校庭や講堂を貸与する。(公) 	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・野球やバレーボールなどで活躍した児童を朝会や学校だよりで紹介した。(色小) ・朝会で、活躍を紹介し、賞状を授与した。また、「学校だより」を活用して、保護者・地域の人々にも紹介することを通して、全校児童の意欲付けを図ることができた。(清小) ・可能な限り、体育館や校庭の開放に努めることができた。活動に対して積極的に声を掛けたり、大会に応援に出掛けるなど、スポ少との関係も良好に築くことができた。(清小) ・団員・指導者登録の窓口業務を行い、募集・登録・保険加入の諸手続を行った。(公) 	

教育の重点	28 図書事業の推進
具体的施策	(1) 図書室の活用促進
主要事業	① 居心地の良さと機能性を持たせた図書室の運用
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・図書の貸し出し業務。(公) ・新刊図書の購入及び広報誌への掲載。(公) ・中高生の学習の場としての提供。(公) 	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・図書の一般貸出は少ない。図書室利用案内や新着図書などの紹介をしている。今後は、町ホームページでも新着図書を紹介したり、気軽に図書室を訪れやすい読書環境づくりを検討する。(公) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	28 図書事業の推進
具体的施策	(2) 読書習慣の定着が図られるような図書環境づくり
主要事業	① 移動図書「なかよし号」の実施
具体的取組計画等 ・幼稚園、保育所との連携による移動図書「なかよし号」の実施。(公)	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 ・6月～2月まで、月1回幼稚園や保育所を巡回訪問し、絵本の貸し出しや読書ボランティアによる読み聞かせやアトラクションを実施し読書習慣の定着に努めた。今後は、移動図書館車「なかよし号」より、町内集会所、幼稚園、保育所、子育て支援センターを巡回し、図書サービスの充実に努める。(公)	

教育の重点	28 図書事業の推進
具体的施策	(2) 読書習慣の定着が図られるような図書環境づくり
主要事業	② 親子読み聞かせ講座等の実施
具体的取組計画等 ・図書まつりの実施・・・絵本の読み聞かせを通して本と触れあい、読書の楽しさを知る機会とする。(公)	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・移動図書まつり「おはなし会」として、幼稚園・保育所において実施した。子どもたちは、本との触れあいを通して、読書の楽しさを知り感性を養うとともに、慈しみの心を育てることができている。(公)	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	29 情報技術・視聴覚教育の充実と振興
具体的施策	(1) 大崎生涯学習センターの活用促進と基本的知識や能力を習得する機会の提供
主要事業	① 大崎生涯学習センターの利用案内
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・大崎生涯学習センターの活用を推進する。(色小) ・パレットおおさきの教材収録一覧等を職員室に置き,必要に応じて教材を借用する。(色小) ・4年生が,星の学習でプラネタリウムを訪問。(色小) ・放送委員会の児童が研修会に参加。(色小) ・大崎生涯学習センター職員と連携し,福祉体験活動を計画する。(清小) ・4年「星の動き」,6年「太陽と月の形」の単元において,プラネタリウム見学を計画する。(清小) ・6年「太陽と月の形」において,モデル実験の補助と,今夜の星空の解説をもらう。(清小) ・5・6年の放送委員の児童を参加させる。(清小) ・視聴覚教材を,各教科,学校行事等で年間指導計画に合わせ計画的に借用する。(色中) ・年長の子どもがプラネタリウムを見学。(色幼) 	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・パレット大崎の教材は,各学年で計画的に借用をした。プラネタリウムは4年生と幼稚園で見学をした。(色小) ・大崎生涯学習センター職員と連携し,福祉体験活動を計画することができた。(清小) ・4年「星の動き」,6年「太陽と月の形」の単元において,プラネタリウム見学を計画したが,時間の関係で実現することができなかった。(清小) ・5・6年の放送委員会所属児童が,生涯学習センター主催の放送研修会に参加し,大変勉強になった。(清小) 	

教育の重点	29 情報技術・視聴覚教育の充実と振興
具体的施策	(2) 各種視聴覚教材ソフトを活用した学習活動の推進
主要事業	① 保育所,幼稚園及び小・中学校が借用する各種視聴覚ソフトの受取と返納の手続き
具体的取組計画等 <ul style="list-style-type: none"> ・大崎生涯学習センターからのおたよりも活用し,教材・機材を効果的に授業に生かす。(色小・清小) ・パレットおおさきからの情報の職員への周知,児童への配布物の速やかな配布。(色小) 	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・たよりは職員に回覧等をして周知を図った。また,児童への配布物はきちんと配布し情報提供を行うことができた。(色小) ・大崎生涯学習センターからのおたよりも活用し,教材・機材を効果的に授業に生かすことができた。(清小) ・各種視聴覚教材の貸し出し,受け取り返却業務は,円滑な運営が定着している。(公) 	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	29 情報技術・視聴覚教育の充実と振興
具体的施策	(3) 大崎生涯学習センターを經由した広域の生涯学習情報提供
主要事業	① 大崎生涯学習センターのホームページ上に各種講座の情報を掲載
具体的取組計画等 ・大崎生涯学習センター主催のウェブサイト説明会へ出席し、操作方法等を学び活用する。(公)	
達成度の評価	③ 普通
評価及び改善策 ・各種学習情報を提供しているが、市町村間の事業への参加形態や対象など、他町村の住民でも参加できるような体制を検討する必要がある。(公)	

教育の重点	30 奨学事業運営事業
具体的施策	(1) 奨学資金貸付金貸与者選考, 貸付け, 返還及び基金造成
主要事業	① 奨学資金の貸付, 返還に関すること
具体的取組計画等 ・経済的な理由で就学困難な人に対して無利子で奨学資金を貸与する。(教委) 貸与額 高校生 2万円 短大生等 3万円 大学生等 4万円	
達成度の評価	④ 概ね満足
評価及び改善策 ・貸付申込者について、奨学事業運営委員会に諮問をし、選考を行い、品行方正にして学業優秀で就学を希望しているにもかかわらず、経済的理由により、就学困難な生徒に対し奨学資金の貸付けを行った。(教委) ・貸付満了者については、計画的な返還がなされている。ただ、年々未納額が増加傾向にあるので、さらなる計画的な返還及び未納額の減少に努める必要がある。(教委) 貸付者 30人(高校生 4人 短大生等 1人 大学生等 25人) 返還者 90人	

色麻町教育委員会 事務事業点検評価書(平成24年度事業)

教育の重点	31 児童生徒の通学確保に関する事業												
具体的施策	(1) 児童生徒送迎事業												
主要事業	① 児童送迎事業												
具体的取組計画等 ・児童生徒の通学手段として、スクールバスを運行し、安全且つ確実に送迎を行う。(教委)													
達成度の評価	④ 概ね満足												
評価及び改善策 ・児童生徒の安全を第一に考え、各停留所を設定し運営した。(教委) ・良好な運営だったが、今後も諸々の事故防止のために万全を期したい。(教委) <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td>利用者</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>色麻小学校</td> <td>127人</td> <td>41.5%</td> </tr> <tr> <td>清水小学校</td> <td>56人</td> <td>42.7%</td> </tr> <tr> <td>色麻中学校</td> <td>95人</td> <td>49.7%</td> </tr> </table>		利用者			色麻小学校	127人	41.5%	清水小学校	56人	42.7%	色麻中学校	95人	49.7%
利用者													
色麻小学校	127人	41.5%											
清水小学校	56人	42.7%											
色麻中学校	95人	49.7%											

教育の重点	32 幼稚園児の通園確保に関する事業									
具体的施策	(1) 園児送迎事業									
主要事業	① 園児送迎事業									
具体的取組計画等 ・園児の通園手段として、幼稚園バスを運行し、安全且つ確実に送迎を行う。(教委)										
達成度の評価	⑤ 大変満足									
評価及び改善策 ・園児の安全を第一に考え、なるべく自宅前での送迎を行った。(教委) ・良好な運営だったが、今後も諸々の事故防止のために万全を期したい。(教委) <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td>利用者</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>色麻幼稚園</td> <td>48人</td> <td>80.0%</td> </tr> <tr> <td>清水幼稚園</td> <td>16人</td> <td>69.6%</td> </tr> </table>		利用者			色麻幼稚園	48人	80.0%	清水幼稚園	16人	69.6%
利用者										
色麻幼稚園	48人	80.0%								
清水幼稚園	16人	69.6%								

色麻町教育委員会事務事業点検評価意見書

(平成24年度事業)

色麻町教育委員会事務事業評価（平成24年度事業）意見書

変化の激しい社会，とりわけ景気の悪化などにより，若者の雇用状況が年々厳しさを増している昨今である。このような中であって現在，そして将来に渡って，豊かで充実した生き方をするために，教育委員会では，毎年「教育基本方針」を策定し，学校教育並びに社会教育の各種事業を展開推進し，町民の生涯にわたる学習の充実に努めている。こうした各種事業について，効率的かつ効果的な教育行政の推進を図るため施策及び事業の点検評価を行っており，この事務事業点検評価が，今後とも各事業に対する費用対効果が拡大され，個々人の活動がよりよい文化となることを願っている。

平成24年度における事務事業点検評価書は具体的施策に基づく180の主要事業について，具体的取組と達成度を5段階で評価し，更に文章による丁寧な評価および改善策が示されている。項目毎の達成度の評価は，大変満足1.7%，概ね満足63.9%，合わせて65.6%という達成状況であり，教育行政事務の管理および執行状況が全体として妥当であることが分かる。また，大変満足が2項目増え3項目，やや不十分は5項目減り3項目となり，改善・見直しを図りながら努力をした効果が見受けられる。ただ，概ね満足が14項目減り115項目，普通が21項目増え59項目という結果は評価基準の捉え方によるものではないかと危惧している。限られた財源の中で効果的・有効的な教育活動を図るため教育行政の自己点検・自己評価に取り組んでいる姿勢は高く評価するとともに，町民が心豊かに活力に満ちた生活を送るためには教育行政の充実強化に寄せる期待は大変大きいと考える。5年目となる本評価書は年度毎の評価が次年度に生かされ改善されてきた積み重ねが感じられる立派なものになっている。更に，今後よりよい事務事業評価にしていくため職員の意識改革や企画立案力の向上を図り，この点検評価が教育行政のより一層の充実に反映することを期待する。

学校教育については，心豊かでたくましい幼児・児童・生徒の育成を目指し，あらゆる活動を通して基礎的・基本的な内容の定着を基盤としながら，生きる力と豊かな個性を育てる教育を推進している。その系統性・連続性のある小中一貫教育を意識した教育活動を展開することを重点目標に掲げており，特に教育の重点3～6に絞ると，今後の改善の方向が見えるように思われる。「3. 創意と活力に満ちた特色ある学校づくりの推進」達成度・概ね満足100%，「4. 確かな学力を身に付けさせるための指導と評価の充実」達成度・概ね満足31%，「5. 各発達段階に応じた志教育の推進」達成度・概ね満足25%，「6. 豊かな心で互いに認め合う人間関係の育成」

達成度・概ね満足 93%である。この結果から、「4. 確かな学力を身に付けさせるための指導と評価の充実」と「5. 各発達段階に応じた志教育の推進」が低く努力を要する。生徒指導面では「すべての児童をすべての教職員で育てるを合言葉として、常に同じ思いで児童に向かうことができた」や「たてわり活動等をとおして協力して活動する姿勢や態度が身に付いている」とあるように、教職員が温かく子どもに寄り添い豊かな心を育てている様子がうかがえる。これらを結びつけることにより学力の向上を図ることは出来ないだろうか。評価書の中にも改善策が示されているように学習のねらいの明確化やシラバスの提示により学びに見通しを持たせ、学習意欲を喚起し、学習内容と日常生活を関連させる等を徹底させれば効果が期待出来ると思われる。また、保護者や町民から小中一貫教育への期待が高い中、教職員の研修意欲の高揚や指導力の向上を目指した研修については成果が見られる。しかし、学力向上の問題については、授業の改善や指導者の工夫などの視点のほかに、力を発揮してきている子どもたちは、何をきっかけに、どのように変化したのかの視点も必要と思われる。更なる教育委員会と学校の英知を結集した取り組みを期待するとともに、子どもの目標意識を高め、やる気を引き出す方策を考えたいものである。更には学校で学ぶ知識と現実の社会や自分の就きたい職業との関係を実感させ、学習意欲の向上へと目を向けさせることは出来ないだろうか。「人間の生き様に触れさせる機会を多く持つことができた」や「労働を伴った活動」等、志教育に関わるものを充実させることにより、より学習意欲を高めることが出来るように思われる。

学校給食については、原発事故以後の放射能に関わる食の安全への積極的な取り組みを高く評価する。学校給食は、子どもたちの健康と直結する問題であり、食の安全を含め保護者の関心も高く、継続的な取り組みに期待する。

小中一貫教育については、中学校の敷地内に小中一貫校の小学校が建設されている様子を中学校の学校だよりで知ることができ、徐々に姿をあらわにする校舎が計画的に進捗していると推察する。また、小中の連携で実施している事業は、小中一貫教育の具体的な取り組みであり先進的なものとして評価する。児童・生徒一人一人をよく理解し子どもの素質や個性を最大限引き出せるよう各教師間での情報共有を行い、教職員の資質の向上を図る研修の充実も必要と考える。児童・生徒にとって、学校生活9年間の教師との出会いは、人間形成に大きな意味を持つと思われる。今後も社会の一員としての役割を担い、自立して生きていくことを考える、夢と志を持った児童・生徒の育成を期待したい。その一方、小中一貫校により地域の方々（両小学校近隣住民）が学校に足を運ぶ頻度が少なくなり、地域住民の学校離れが懸念される。学校は教育の場だけに留めず、学校行事を通して保護者や地域の方々により多く学校に出向

いてもらい、信頼を得られる学校づくりに発展することを期待する。更に、小学生にとっては初めての登下校ルートとなるので、自転車・徒歩での通学路における危険箇所の現状把握・検証，対処の必要な場所での改善・処置を行い，安全確保を強く希望する。

社会教育については，ライフステージに応じた教室・講座等の事業は昨年の評価を上回っており，町民のニーズに沿った学習内容を多く展開し，学習の充実に努めた成果と思われる。教育行政に多くの町民が関わることにより，豊かな知識が育まれ，地域のコミュニティが生まれ，さらには町全体の活性化につながるものと考えている。

最後に「教育委員会」が果たす役割については，町民の関心が尚一層高まっている。その背景には「教育」という未来へ向けた営みに対して，多くの人々が不安を抱かざるを得ない現象が様々な形で起きているという実態がある。具体的には，学力，いじめ，災害時の判断などに関することであり，特に「いじめ」などの人間関係のトラブルを原因として，若い命が失われるという悲しい出来事が全国的にも大きな問題となっている。アンケートでは認知件数の把握・減少が目的であり，申告・報告漏れの危険性も懸念される。早いうちに芽を摘み取るしっかりした仕組み（学校内の取り組み，家庭，警察との連携など）を構築して，被害者（自殺者や心に残る傷を負う者）が出ないように，きめ細かい万全の対策をお願いする。

教育行政は，突発的政策や奇抜な事業を創造するのではなく，長期的視野に立った持続的で発展的な活動を展開することであると考える。何よりも子どもたちが安心して学校生活を送ることができ，安全で質の高い学校生活が保障されるよう，今後とも教育委員会が教職員と一定の緊張感を保ちながら，職責を果たされることを祈念する。平成26年度には，小中一貫校が開校し，それまでのプロセスや政策等，県内はもとより全国から注目されモデルになると思われる。教育委員会は，ますます開かれた教育行政を推進するとともに，子どもたちに生きる力の育成，確かな学力や豊かな心，健やかな体をはぐくむ学校づくり，そして生涯にわたって学ぶことのできる環境づくりに向けて，一層の施策展開と高い成果の実現を期待する。

色麻町教育委員会事務事業点検評価委員

武 藤 と し 子
浅 野 孝 幸
伊 藤 洋 子

平成25年8月

評 価 者

色麻町教育委員会

学識経験者

委員長 児 玉 輝 夫

武 藤 とし子

委 員 佐々木 景 喜

浅 野 孝 幸

委 員 小 川 泰 子

伊 藤 洋 子

委 員 武 田 由 紀

教育長 菅 原 利 之

